

予算科目	3 款	民生費	事業名	民生委員・児童委員関係事業		
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 目	社会福祉総務費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	
	事業	民生委員関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 58		
目的及び事業内容	<p>民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、民生委員・児童委員の活動経費の一部として石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付するほか、民生委員推薦会を開催し、候補者を県に進達することにより、地域福祉を推進する。</p>					
取組実績	<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金の交付 高年齢の見守り訪問活動や地域福祉活動などを行う民生委員の負担軽減のため、活動費を交付した。 (1) 活動費 一人当たり年額60,200円（途中退任の場合は月割額） 19,670,365円 (2) 活動啓発費等 267,600円 合計 19,937,965円</p> <p>2 委嘱状況 (1) 令和5年度末の委嘱状況 定数：369人 現委嘱数：325人 欠員数：44人 (2) 石巻市民生委員推薦会の開催（計3回、候補者9名） 第1回：令和5年 4月10日から 4月14日（持ち回りによる審査）2名推薦 第2回：令和5年 7月12日から 7月21日（持ち回りによる審査）2名推薦 第3回：令和5年12月26日から令和6年 1月 4日（持ち回りによる審査）5名推薦</p> <p>3 欠員地区への対応、民生委員活動等の周知 (1) 欠員地区の自治会長等へ現況、候補者の有無について聴取 (2) 石巻市町内会連合会総会において候補者推薦について依頼（6月開催） (3) 市報やホームページにより民生委員の役割や活動内容を周知 （市報：5月、8月、9月、10月、11月、1月、2月 計7回掲載） (4) 民生委員に実施した「町内会との関わりアンケート」結果を町内会長（区長）等に配布し、町内会と民生委員との連携の重要性を周知 (5) 民生委員協力員制度により、配置を希望する民生委員へ協力員を配置 委嘱者数：6人</p>					
成果	<p>単身高齢世帯へ見守り訪問や地域での福祉イベントの開催などに加え、災害時要配慮者への支援、複雑多様化する課題を抱えた市民への対応など多くの役割があり、活動負担が大きいことから、活動費を交付することにより、経済的な負担軽減が図られた。 また、民生委員活動内容の市報掲載や、町内会長（区長）等に民生委員と町内会との関わりアンケート結果を配布したことにより、民生委員活動の周知と理解促進が図られた。 民生委員協力員の配置により、民生委員と複数体制で協力しての活動が可能となり、民生委員の実務的及び心理的負担軽減が図られた。</p>					
成果に係る評価	<p>高齢化の進行に伴う見守り対象世帯の増加や相談への対応、福祉イベントの開催、災害時要配慮者への支援等、民生委員の活動は多岐に渡ることから、活動経費の交付を継続し、負担軽減を図る必要がある。 また、民生委員の役割や活動への理解を深めるため、市報等を活用した継続的な周知が必要である。 併せて、町内会長、社会福祉協議会など地域福祉活動に関わる関係者から地域の現状を把握し、情報共有するなど欠員解消に努めるとともに、民生委員協力員制度の認知度を高め複数体制での活動を推進することで負担軽減を図り、早期退任を抑制する必要がある。</p>					
予算の執行状況	（単位：円）					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
21,096,000	20,043,449			100,000	19,943,449	

予算科目	3 款	民生費	事業名	社会福祉協議会運営費補助事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現														
	事業	社会福祉関係助成費		(1)	地域での孤立防止を推進する														
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P58															
目的及び事業内容		石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、同法人の円滑な事業推進を支援し、地域福祉の増進を図る。																	
取組実績		石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員に係る人件費相当分の一部を補助金として交付した。 補助金交付額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>補助対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>170,725,517円</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>173,436,519円</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>164,526,966円</td> <td>32名</td> </tr> </tbody> </table>						年度	補助額	補助対象人数	R3	170,725,517円	34名	R4	173,436,519円	33名	R5	164,526,966円	32名
年度	補助額	補助対象人数																	
R3	170,725,517円	34名																	
R4	173,436,519円	33名																	
R5	164,526,966円	32名																	
成 果		地域福祉の中核を担う石巻市社会福祉協議会に対し、運営費の一部を補助する事で、事業の安定的な運営が確保され、地域住民や関係団体との連携及び協働による本市の地域福祉の推進と、子ども・高齢者・障害者など全ての市民が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組や包括的な支援体制の推進が図られた。																	
成果に係る評価		本市の第4期地域福祉計画の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくり」の実現に向けて、石巻市社会福祉協議会と連携した取組が必要不可欠であることから、事業を継続する必要がある。 なお、補助基準を明確化するため、令和6年3月に「石巻市社会福祉協議会運営費補助金交付要綱」を制定しており、石巻市社会福祉協議会が作成した「職員適正化計画」の進捗管理と併せ、効率的な運営を行うための協議を継続していく必要がある。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	164,527,000	164,526,966					164,526,966												

予算科目	3 款	民生費	事業名	支え合い活動支援事業																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																										
	事業	地域福祉推進関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		-																											
目的及び事業内容		復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体が実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。																													
取組実績		1 事業委託 (1) 委 託 先 石巻市社会福祉協議会 (2) 委託内容 ・交付申請及び実績報告に係る受付、書類審査等 ・サロンの継続を図るための側面支援 ・各種サロン活動助成事業のフォローアップ及び連携と調整 (3) 委 託 料 2,105,000円 2 サロン活動補助金(年間上限額:30,000円 助成期間:最長4年間) (1) @30,000円×10団体=300,000円 (2) 上限額未満 1団体 27,000円 補助金合計 327,000円 3 コロナ禍における補助金交付要件の緩和 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数や活動回数を制限しつつ、活動を継続しているサロン団体を支援するため、少人数で年1回以上活動を実施した団体についても補助対象とする等の要件緩和を継続した。(※要件緩和開始年度:R2年度) 4 事業実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付団体数</th> <th>補助金額</th> <th>業務委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>168件</td> <td>5,011,770円</td> <td>2,857,229円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>96件</td> <td>2,760,101円</td> <td>2,925,407円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>60件</td> <td>1,723,726円</td> <td>2,283,600円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>33件</td> <td>989,037円</td> <td>2,108,700円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>11件</td> <td>327,000円</td> <td>2,105,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付団体数	補助金額	業務委託料	R1	168件	5,011,770円	2,857,229円	R2	96件	2,760,101円	2,925,407円	R3	60件	1,723,726円	2,283,600円	R4	33件	989,037円	2,108,700円	R5	11件	327,000円	2,105,000円
年度	交付団体数	補助金額	業務委託料																												
R1	168件	5,011,770円	2,857,229円																												
R2	96件	2,760,101円	2,925,407円																												
R3	60件	1,723,726円	2,283,600円																												
R4	33件	989,037円	2,108,700円																												
R5	11件	327,000円	2,105,000円																												
成 果		新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止、中止する団体もあったが、活動内容の工夫等により活動の継続、再開する団体を支援するため、交付要件緩和を継続したこともあり、会員同士による声かけや見守り活動が行われ、住民同士の支え合う関係性が持続し、地域互助意識の醸成が図られた。																													
成果に係る評価		復興支援としてのサロン活動助成事業は、令和2年度までに新規申請した団体が4年間の助成期間を満了する令和5年度をもって終了したが、本助成金終了後の活動支援として、他の助成事業の活用を促すことで、本事業終了後の活動継続をフォローした。 震災後の復興公営住宅等での新たな地域コミュニティの形成、生きがいがつくりや地域における居場所の確保などについて、本事業の実施により住民間における支え合う意識の醸成が図られ、自主的かつ継続的なサロン活動の立ち上げに寄与した。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	2,645,000	2,432,000	2,432,000																												

予算科目	3 款	民生費	事業名	コミュニティカーシェアリング推進事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち														
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現														
	事業	地域福祉推進関係費		(1)	地域での孤立防止を推進する														
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P58															
目的及び事業内容	コミュニティ・カーシェアリングを活用した住民主体による地域互助活動に取り組もうとする町内会等に専門コーディネーターを派遣し、コミュニティ・カーシェアリングを行う団体の立上げ準備から立上げ直後の運営支援を行うことにより、住民同士が支え合いながら暮らすことのできる地域づくりを目指す。																		
取組実績	<p>1 制度内容の周知</p> <p>地域においてコミュニティ・カーシェアリングを行うカーシェア会が設立されていない総合支所地域や沿岸部において、地域住民や関係機関への説明会を行ったほか、ホームページ、住民向けチラシの配布などによる周知を行った。</p> <p>2 カーシェア会の立上げ支援による設立実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>地区</th> <th>設立年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>山下山</td> <td>R1.7.16</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>真山</td> <td>R4.2.11</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>荻浜</td> <td>R5.3.3</td> </tr> </tbody> </table>							年度	地区	設立年月日	R1	山下山	R1.7.16	R3	真山	R4.2.11	R4	荻浜	R5.3.3
年度	地区	設立年月日																	
R1	山下山	R1.7.16																	
R3	真山	R4.2.11																	
R4	荻浜	R5.3.3																	
成果	令和5年度においては、地域のカーシェア会の設立、導入には至らなかったものの、地域住民への説明会や関係機関との協議、試行（テスト）運行を実施したことにより、高齢者等の移動手段の確保及び互助活動を通じた課題解決の試みとなるコミュニティ・カーシェアリングの取組に対する理解が図られた。																		
成果に係る評価	車の利用によるコミュニティの形成及び日常の買い物や通院時における公共交通の補完的役割を担うコミュニティ・カーシェアリングは、その持続可能性のある仕組みを担保し、地域課題の解決に向けた地域互助活動である取組みを普及・促進するため、事業に対する理解・関心を高める必要がある。今後は、コミュニティ・カーシェアリングを行う団体が未設置であり公共交通網が不足しがちな総合支所地域や沿岸部を中心に導入手続きを進め、関係機関との連携を図りながら、引き続き町内会や民生委員・児童委員、地域住民に対し事業内容の周知を行う必要がある。																		
予算の執行状況	(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	1,089,000	1,089,000	544,000			545,000													

予算科目	3 款	民生費	事業名	避難行動要支援者支援事業																																																																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																										
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																										
	事業	要配慮者等避難支援事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		-																																																																											
目的及び事業内容	自ら避難することが困難な者の避難支援につながる「地域の助け合いの意識」を醸成するため、避難行動要支援者情報を適切に管理、更新するとともに、登録者名簿及び個別避難計画を作成し、民生委員や町内会等と情報共有等を図ることによって、避難行動要支援者を支援する体制づくりを推進する。																																																																														
取組実績	<p>1 年度別登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>3,667人</td> <td>2,673人</td> <td>142人</td> <td>81人</td> <td>562人</td> <td>119人</td> <td>51人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3,057人</td> <td>2,283人</td> <td>115人</td> <td>52人</td> <td>469人</td> <td>89人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,720人</td> <td>2,029人</td> <td>108人</td> <td>67人</td> <td>405人</td> <td>75人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※死亡者や転出者等の登録抹消者数が、新規登録者数を上回るため、要支援者の登録者数は減少傾向</p> <p>2 防災ネットワーク(※)登録団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>147団体</td> <td>132団体</td> <td>0団体</td> <td>3団体</td> <td>6団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>149団体</td> <td>134団体</td> <td>0団体</td> <td>3団体</td> <td>6団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>154団体</td> <td>135団体</td> <td>2団体</td> <td>3団体</td> <td>7団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>1団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※防災ネットワークとは、登録制で要支援者支援に協力いただける自主防災組織、町内会又は町内会に類する自治組織</p> <p>3 取組内容</p> <p>(1) 民生委員児童委員への避難行動要支援者情報の提供回数を増やして支援体制の整備に努めるとともに、提供に併せて避難行動要支援者支援制度に関する説明を行い、民生委員児童委員の制度に対する理解促進を図った。</p> <p>(2) 出前講座を3回実施し、市民等の制度に対する理解促進を図った。</p> <p>(3) 民生委員児童委員の協力をいただき、要支援者の新規登録及び情報更新を実施した。</p> <p>(4) 制度に関するホームページ内容を更新した。</p> <p>(5) 制度に関する市報掲載を実施した。</p> <p>(6) 石巻市地域連携会議総会で防災ネットワーク登録について周知した。</p>							年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	R3	3,667人	2,673人	142人	81人	562人	119人	51人	39人	R4	3,057人	2,283人	115人	52人	469人	89人	23人	26人	R5	2,720人	2,029人	108人	67人	405人	75人	18人	18人	年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	R3	147団体	132団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体	R4	149団体	134団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体	R5	154団体	135団体	2団体	3団体	7団体	1団体	5団体	1団体
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																							
R3	3,667人	2,673人	142人	81人	562人	119人	51人	39人																																																																							
R4	3,057人	2,283人	115人	52人	469人	89人	23人	26人																																																																							
R5	2,720人	2,029人	108人	67人	405人	75人	18人	18人																																																																							
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																							
R3	147団体	132団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体																																																																							
R4	149団体	134団体	0団体	3団体	6団体	1団体	5団体	0団体																																																																							
R5	154団体	135団体	2団体	3団体	7団体	1団体	5団体	1団体																																																																							
成果	制度に関する周知等により理解促進が図られ、共助の意識醸成につながるるとともに、防災ネットワークの登録数も増加し、要支援者の避難支援体制の整備が図られた。																																																																														
成果に係る評価	制度の周知等により、共助の意識醸成や防災ネットワーク登録の推進は図られたが、引き続き各種お知らせの機会や市報等を活用して周知に努めていく必要がある。																																																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																									
	1,078,000	880,278				880,278																																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名		包括的支援体制整備事業																			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																			
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																			
	事業	包括的支援体制構築事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																			
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課		実施計画掲載ページ		P58																			
目的及び事業内容	<p>地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に行う見守り等の互助活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動を支援する。</p> <p>また、複雑・複合化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制の構築を図るため、個別検討会議、ネットワーク会議、多職種連携会議等を行う。</p>																							
取組実績	<p>1 地域互助活動促進事業助成金 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動の支援を実施した。 【交付内訳】</p> <table border="1"> <tr><td>・送迎支援</td><td>9事業</td><td>1,080,000円</td></tr> <tr><td>・見守り・助け合い活動</td><td>24事業</td><td>1,384,000円</td></tr> <tr><td>・交流活動</td><td>16事業</td><td>937,000円</td></tr> <tr><td>・複合活動</td><td>4事業</td><td>230,000円</td></tr> <tr><td>・イベント活動</td><td>21事業</td><td>630,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>41団体 74事業</td><td>4,261,000円</td></tr> </table> <p>2 「地域の支え合いを考える大会」の開催 ※「地域福祉講演会」と合同開催 【開催日】 令和5年12月2日 【参加者】 市民、福祉関係者等 217人 【内容】 福祉作品コンクールの表彰式、地域で活動している団体の活動発表、基調講演</p> <p>3 ネットワークの構築 関係課や民間団体、医療機関と会議等を行い、複合的な課題や制度の狭間にある問題を抱える方に対してチームアプローチを行い、連携の強化を図った。 (1) ネットワーク会議：2回 参加者（延べ）42名 (2) 個別検討会議（随時開催）：2回 参加者（延べ）20名 (3) 多職種連携会議（民協区毎に開催）：45回 参加者（延べ）402名</p>						・送迎支援	9事業	1,080,000円	・見守り・助け合い活動	24事業	1,384,000円	・交流活動	16事業	937,000円	・複合活動	4事業	230,000円	・イベント活動	21事業	630,000円	計	41団体 74事業	4,261,000円
・送迎支援	9事業	1,080,000円																						
・見守り・助け合い活動	24事業	1,384,000円																						
・交流活動	16事業	937,000円																						
・複合活動	4事業	230,000円																						
・イベント活動	21事業	630,000円																						
計	41団体 74事業	4,261,000円																						
成果	<p>1 地域互助活動促進事業においては、広く活用していただけるよう助成期間の延長及び事業区分の追加を行ったことで、新規の28団体から申請があり、住民の主体的な互助活動の促進と地域コミュニティの体制づくりに寄与することができた。</p> <p>2 「地域の支え合いを考える大会」では、コロナ禍においての地域福祉の現状や課題を知ることにより、地域での支え合いの大切さについて参加者間で共有することができた。</p> <p>3 複合・複雑課題について、つなぎ先やつなぎ方を会議の場で共有することにより、課題の軽減や解消につながり、包括的な支援が図られた。</p>																							
成果に係る評価	<p>地域互助活動促進事業については、令和4年度まで申請実績のない自治会等の「互助」の意識醸成を図ることで地域住民の身近な生活課題を把握し、早急に解決に向けて取り組む体制づくりの構築が図られており、引き続き支援をしていく必要がある。</p> <p>庁内関係課との包括的な相談の受け止めやつなぎについては、横断的な連携支援が必要であることから、今後も複合的な課題や制度の狭間にある問題を抱える方に対し、ネットワーク会議や多職種連携会議などを通じて適切な機関等へつながるように、引き続き連携を図っていきたい。</p>																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																					
	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,385,000	4,828,231	2,130,000		2,131,000	567,231																		

予算科目	3 款	民生費	事業名		共生型地域包括ケアサービス事業																																	
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	1 目	社会福祉総務費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																	
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																	
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課		実施計画掲載ページ		P60																																	
目的及び事業内容	<p>社団法人において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																					
取組実績	<p>1 実施場所 社団法人保健福祉センター「清優館」</p> <p>2 実施回数 年間50回</p> <p>3 利用登録者数 19人（男1人・女18人）</p> <p>4 利用延べ人数 406人（男23人・女383人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R1</td><td>55回</td><td>600人</td><td>725人</td><td>120.8%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>40回</td><td>600人</td><td>372人</td><td>62.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>52回</td><td>520人</td><td>398人</td><td>76.5%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>52回</td><td>520人</td><td>421人</td><td>81.0%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>50回</td><td>520人</td><td>406人</td><td>78.1%</td></tr> </tbody> </table> <p>5 サービス実施内容 (1) 生活や健康に関する相談・指導等 (2) 健康状態の確認（血圧測定、脈拍測定等） (3) 日常動作訓練（健康体操、転倒防止体操等） (4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等 (5) 利用者の送迎 (6) 屋食サービスほか</p>						年度	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	R1	55回	600人	725人	120.8%	R2	40回	600人	372人	62.0%	R3	52回	520人	398人	76.5%	R4	52回	520人	421人	81.0%	R5	50回	520人	406人	78.1%
年度	実施回数	利用延べ人数		達成率																																		
		目標	実績																																			
R1	55回	600人	725人	120.8%																																		
R2	40回	600人	372人	62.0%																																		
R3	52回	520人	398人	76.5%																																		
R4	52回	520人	421人	81.0%																																		
R5	50回	520人	406人	78.1%																																		
成果	<p>令和4年度と比較して、利用登録者数が減少したことにより利用延べ人数の実績が減少した。事業の実施により、制作活動やレクリエーション活動等を行うことで、利用者相互の交流が見られ、居場所の確保と孤立感の解消、心身機能の維持向上等が図られた。</p>																																					
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降利用登録者数が減少していることから、利用延べ人数もコロナ禍以前より減少している。利用者の生きがいづくりや介護予防等、共生型サービスとして定着してきたことなど、次世代型地域包括ケアの観点で有用な事業であることから、事業所等と連携し地域住民に働きかけるなど登録者の増加を図ることとしたい。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																			
	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	3,530,000	3,529,900			3,529,900																																	

予算科目	3 款	民生費	事業名	買物支援対策事業																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	1 目	社会福祉総務費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																										
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																										
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 60																											
目的及び事業内容		離島部においては、日常生活必需品の確保は切実な課題であることから、買物支援対策事業を実施する団体に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支え合い（互助）」による買物支援対策事業が安定的に行われ、買物の利便性向上に資することを目的とする。																													
取組実績		<p>1 実施事業</p> <p>離島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に対し、物資輸送費（船賃）の一部経費を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>283,210円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	申請件数	交付件数	交付額	R1	1件	1件	283,210円	R2	1件	1件	150,000円	R3	1件	1件	90,000円	R4	1件	1件	90,000円	R5	1件	1件	90,000円
年度	申請件数	交付件数	交付額																												
R1	1件	1件	283,210円																												
R2	1件	1件	150,000円																												
R3	1件	1件	90,000円																												
R4	1件	1件	90,000円																												
R5	1件	1件	90,000円																												
成果		助成金を交付することで、「地域コミュニティを生かした支え合い（互助）」による活動が安定的に行われ、買物困難地域における買物の利便性の向上が図られた。																													
成果に係る評価		事業対象地区では住民の高齢化や後継者不足などの課題もある中、地域住民が相互に支え合い、本事業に自主的に取り組んでおり、次世代型地域包括ケアの観点から引き続き離島部の買物困難地域における地域住民の取組を支援するとともに地域の実情を踏まえ、事業を継続していく必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	180,000	90,000				90,000																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	奨学金返還支援事業																																																																																																																																																																							
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																																																						
	1 目	社会福祉総務費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																																																																																																																						
	事業	地域包括ケア推進事業費		(2)	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																																																																																																																																																						
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課	実施計画掲載ページ		P 60																																																																																																																																																																							
目的及び事業内容		地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額10万円を上限に最長6年間、助成金を交付する。 ※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士																																																																																																																																																																									
取組実績		<p>1 奨学金返還支援事業助成金の交付</p> <p>・交付状況（助成金交付者の保有資格内訳）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>5人</td> <td>24人</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td>14人</td> <td>18人</td> <td>9人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>13人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>21人</td> <td>6人</td> <td>18人</td> <td>9人</td> <td>17人</td> <td>11人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>9人</td> <td>5人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>精神保健福祉士</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>13人</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>19人</td> <td>8人</td> <td>19人</td> <td>9人</td> <td>16人</td> <td>7人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39人</td> <td>60人</td> <td>31人</td> <td>71人</td> <td>36人</td> <td>61人</td> <td>39人</td> <td>70人</td> <td>36人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>交付者数(人)</td> <td colspan="2">99人</td> <td colspan="2">102人</td> <td colspan="2">97人</td> <td colspan="2">109人</td> <td colspan="2">105人</td> </tr> <tr> <td>交付額(円)</td> <td>13,225,364円</td> <td>14,037,798円</td> <td>14,231,953円</td> <td>14,545,780円</td> <td>12,375,834円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業の周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載 ・関係団体（石巻市医師会、桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻、県内の教育機関等39団体）への周知依頼とチラシの設置等 <p>3 奨学金返還支援事業助成金交付要綱の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱改正し、令和5年度新規申請者から年間返還金額の1/2（上限10万円）最長6年間で60万円助成する制度に変更した。（令和4年度以前からの継続者については従前の要綱に基づいて助成） 						資格	R1		R2		R3		R4		R5		新規	継続	看護師	5人	24人	7人	16人	9人	12人	14人	18人	9人	21人	保健師	0人	1人	0人	助産師	2人	2人	2人	4人	0人	4人	1人	2人	0人	2人	理学療法士	13人	10人	7人	21人	6人	18人	9人	17人	11人	13人	作業療法士	3人	7人	3人	5人	7人	5人	3人	9人	5人	10人	言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	2人	社会福祉士	0人	1人	2人	0人	3人	1人	2人	4人	2人	5人	介護福祉士	3人	3人	0人	6人	2人	2人	0人	3人	1人	1人	精神保健福祉士	0人	1人	0人	保育士	13人	11人	10人	19人	8人	19人	9人	16人	7人	15人	合計	39人	60人	31人	71人	36人	61人	39人	70人	36人	69人	交付者数(人)	99人		102人		97人		109人		105人		交付額(円)	13,225,364円	14,037,798円	14,231,953円	14,545,780円	12,375,834円																											
資格	R1		R2		R3		R4		R5																																																																																																																																																																		
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続																																																																																																																																																																	
看護師	5人	24人	7人	16人	9人	12人	14人	18人	9人	21人																																																																																																																																																																	
保健師	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																																																																	
助産師	2人	2人	2人	4人	0人	4人	1人	2人	0人	2人																																																																																																																																																																	
理学療法士	13人	10人	7人	21人	6人	18人	9人	17人	11人	13人																																																																																																																																																																	
作業療法士	3人	7人	3人	5人	7人	5人	3人	9人	5人	10人																																																																																																																																																																	
言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	2人																																																																																																																																																																	
社会福祉士	0人	1人	2人	0人	3人	1人	2人	4人	2人	5人																																																																																																																																																																	
介護福祉士	3人	3人	0人	6人	2人	2人	0人	3人	1人	1人																																																																																																																																																																	
精神保健福祉士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人																																																																																																																																																																	
保育士	13人	11人	10人	19人	8人	19人	9人	16人	7人	15人																																																																																																																																																																	
合計	39人	60人	31人	71人	36人	61人	39人	70人	36人	69人																																																																																																																																																																	
交付者数(人)	99人		102人		97人		109人		105人																																																																																																																																																																		
交付額(円)	13,225,364円	14,037,798円	14,231,953円	14,545,780円	12,375,834円																																																																																																																																																																						
成果		令和5年度における3年間継続者（令和3年度から継続して申請している者）は28名であり、医療・福祉・介護職の人材確保及び定住促進が図られた。 また、各事業所及び専門学校等へのチラシ配布、市報、ホームページ等を活用し、広く周知を行ったことにより、令和5年度の新規助成金交付者数は36人であった。 要綱改正を行い、総助成額を変えずに、最大6年間助成することが可能となったことから、さらに長期的な人材確保及び定住促進が期待できる。																																																																																																																																																																									
成果に係る評価		市内事業所による、本制度を活用した採用活動や各関係機関への広報活動の周知により、令和4年度並みの新規申請者となっている。 令和6年度からオンライン申請の導入により申請手続きの簡略化を行い、申請者の利便性の向上を図るとともに、事業所や対象者の目に触れやすいSNSなどを活用した制度の周知に努め、長期的な専門職の人材確保や定住促進に努めていく必要がある。																																																																																																																																																																									
(単位：円)																																																																																																																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																																					
	14,138,000	12,375,834				2,000,000	10,375,834																																																																																																																																																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	旧みなと荘解体事業			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		
	2 目	総合福祉会館費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進		
	事業	みなと荘管理費		(2)	未利用公有財産の有効な利活用を図る		
担当部課	保健福祉部保健福祉総務課		実施計画掲載ページ	P 109			
目的及び事業内容	総合福祉会館みなと荘が新設され、旧総合福祉会館みなと荘は、復興支援関係事務の執務室として、石巻市社会福祉協議会に無償貸与していたが、石巻市社会福祉協議会の事務所移転に伴い、令和3年度末に返還を受けた。その後、新たな利活用の予定がないことから、老朽化した建物を解体撤去し、環境整備を図る。						
取組実績	<p>1 施設概要</p> <p>(1) 建物所在 石巻市湊町一丁目204-1</p> <p>(2) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建</p> <p>(3) 延床面積 2,340.05㎡</p> <p>2 実施業務</p> <p>(1) 解体工事費 全体工事費 109,991,800円 うち、工事前払金 43,060,000円 (※R6繰越額：66,931,800円)</p> <p>(2) 工期 (当初) 令和5年8月7日～令和6年3月22日 (変更) 令和5年8月7日～令和6年4月30日</p>						
成果	地下埋設物が確認されたことから工期が延長になったが、令和6年4月30日の解体工事完了に向け、工事の進捗が図られた。						
成果に係る評価	令和6年4月30日の解体工事の完了に向けて、引き続き工事を継続する必要がある。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	43,060,000	43,060,000		40,900,000		2,160,000	

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害者福祉事業																																																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																										
	3 目	障害者福祉費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																																										
	事業	障害者福祉費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																																										
担当部課	保健福祉部障害福祉課		実施計画掲載ページ	P 52																																																											
目的及び事業内容	障害者の自立と更生のため、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付事務等、各種事業を実施し、障害者の援護及び社会参加の促進を図る。																																																														
取組実績	<p>1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 ※各年度3月31日現在</p> <table border="1"> <tr> <th>各種手帳の交付状況 (所持者数)</th> <th>年度</th> <th>身体障害者手帳</th> <th>療育手帳</th> <th>精神障害者手帳</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>5,392人</td> <td>1,448人</td> <td>1,123人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>5,267人</td> <td>1,348人</td> <td>1,177人</td> </tr> </table> <p>2 身体障害者相談員設置事業 ・委嘱相談員 R4:7名 R5:7名 相談件数 R4:45件 R5:23件 身体障害者を相談員として委嘱しており相談員が身体障害者の相談に応じ必要な援助を行った。</p> <p>3 在宅障害者等社会参加促進助成券(タクシー券・自動車燃料券)の交付 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加の促進に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>交付者数</th> <th>助成額</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,640人</td> <td>37,902,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,774人</td> <td>38,676,000円</td> </tr> </table> <p>4 障害福祉計画等策定事業 ・委託料 R5 4,136,000円 R6年度からR8年度までを計画期間とした障害福祉サービス等に関する数値目標やサービスの提供体制を定めた、石巻市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画を策定した。</p> <p>5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業 呼吸器障害者等に対し、居宅において酸素濃縮器等の使用に要する経費(電気料)について、助成金を交付した。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>助成人数</th> <th>助成額</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>107人</td> <td>2,056,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>95人</td> <td>1,830,000円</td> </tr> </table> <p>6 難聴児補聴器助成事業 身体障害者手帳交付対象外の軽中等度難聴児に対し、補聴器の購入・修理費用の一部を助成した。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>利用件数</th> <th>助成額</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2人</td> <td>4件</td> <td>52,152円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>4人</td> <td>4件</td> <td>183,679円</td> </tr> </table> <p>7 重症心身障害児短期入所利用支援助成事業 市外の医療型短期入所施設を利用した際の移動に係る燃料費相当額等を助成した。</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>利用件数</th> <th>助成額</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1人</td> <td>6件</td> <td>54,168円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2人</td> <td>3件</td> <td>29,156円</td> </tr> </table>						各種手帳の交付状況 (所持者数)	年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳	R4		5,392人	1,448人	1,123人	R5		5,267人	1,348人	1,177人	年度	交付者数	助成額	R4	2,640人	37,902,000円	R5	2,774人	38,676,000円	年度	助成人数	助成額	R4	107人	2,056,000円	R5	95人	1,830,000円	年度	利用者数	利用件数	助成額	R4	2人	4件	52,152円	R5	4人	4件	183,679円	年度	利用者数	利用件数	助成額	R4	1人	6件	54,168円	R5	2人	3件	29,156円
各種手帳の交付状況 (所持者数)	年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳																																																											
R4		5,392人	1,448人	1,123人																																																											
R5		5,267人	1,348人	1,177人																																																											
年度	交付者数	助成額																																																													
R4	2,640人	37,902,000円																																																													
R5	2,774人	38,676,000円																																																													
年度	助成人数	助成額																																																													
R4	107人	2,056,000円																																																													
R5	95人	1,830,000円																																																													
年度	利用者数	利用件数	助成額																																																												
R4	2人	4件	52,152円																																																												
R5	4人	4件	183,679円																																																												
年度	利用者数	利用件数	助成額																																																												
R4	1人	6件	54,168円																																																												
R5	2人	3件	29,156円																																																												
成果	石巻市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画を策定することで、障害者の生活基盤の安定に寄与するため、計画的なサービス等の提供、必要とされる支援の実施を図った。																																																														
成果に係る評価	障害により支援を必要とする人が、身近な地域で安心して社会生活を送ることができるよう、個々に応じた各種事業の継続的な実施が必要である。																																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
	66,400,000	59,830,825	565,000			59,265,825																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害者自立支援給付事業			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち		
	4 目	障害者自立支援費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実		
	事業	自立支援給付費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う		
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P52			
目的及び事業内容	<p>障害者総合支援法に基づき、障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。</p> <p>事業費としては、国1/2、県1/4、市1/4の負担金によるものとなっている。</p>						
取組実績	1 障害福祉サービス給付費						
	(1) 介護給付（訪問系）：居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護						
	(2) 介護給付（訪問系以外）：療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援 等						
	(3) 訓練等給付：自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム 等						
	分 類	事業所数	実利用数	延利用数	給付費		
	上記 (1)	34か所	271 人	45,616 h	205,713,566 円		
	上記 (2) 及び (3)	211か所	1,649 人	344,964 日	2,518,535,412 円		
	措置費	1か所	1 人	12 件	3,817,932 円		
	相談支援給付費	50か所	1,141 人	3,272 件	51,478,932 円		
	特定障害者特別給付費等	83か所	385 人	4,327 件	37,617,011 円		
	高額障害福祉サービス費	—	63 人	234 件	3,808,073 円		
	計				2,820,970,926 円		
	※事業所数は、実利用事業所ベース。						
	2 補装具給付（身体障害者、障害児に対する補装具給付）						
	身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理に係る給付を行った。						
	・給付件数：310件、給付実績額：36,469,367円						
	3 自立支援医療給付（更生医療給付、育成医療給付、療養介護医療給付）						
	身体障害者及び障害児、精神疾患を有する者に対し、障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給した。また、療養介護入所施設の障害者に対し、療養介護医療費を支給した。						
	医療名称	公費負担額					
	更生医療	233,593,865 円					
	育成医療	352,519 円					
	療養介護医療	23,592,748 円					
	4 医療型短期入所事業空床確保負担金						
	指定障害福祉サービス事業所（医療型短期入所）である石巻市立病院（H30年1月1日指定）と連携し、空床確保に努めた。						
	・負担金額：8,797,930円						
	【参考】指定障害福祉サービス（医療型短期入所）利用状況：実利用人数6人、延べ57日						
成果	障害のある方が、自ら行動できるための必要な支援を行い、在宅・施設での日常生活の安定と質の向上を図ることができた。						
成果に係る評価	<p>障害者総合支援法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費であり、利用者のニーズに沿った、概ね適正な支給となっている。</p> <p>今後も、障害により日常生活を営むことに支障がある方が、在宅生活を維持し、または地域の中で必要な支援・介護を受けながら暮らすことができるよう、多様化するニーズや障害特性に対応しつつ、必要なサービスの提供と支援体制の整備に努める。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,177,806,000	3,128,697,111	2,378,665,407		330,000	749,701,704	

予算科目	3 款	民生費	事業名	相談支援事業			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち		
	5 目	地域生活支援事業費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実		
	事業	相談支援事業費		(2)	相談・地域生活支援体制を構築する		
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53			
目的及び事業内容	<p>障害者支援専門の相談窓口（主に基幹相談支援センター及び相談支援事業所）を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。</p> <p>また、ひきこもりがちな精神障害者等に対し、安心して過ごせる場や集いの場を提供して外出の機会を増やすことや孤立化を防ぎ、病気の再発予防を図ること等、精神障害者の社会復帰や社会的自立及び社会参加を促進するためコミュニティサロンの運営をしている。</p>						
取組実績	1 障害者相談支援事業：R5年度委託料 69,953,245円						
	障害者等の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用援助等必要な支援を行った。						
	相談内容：福祉サービス利用、健康、医療、家計、家族関係、就労等						
		年度	委託先	相談件数			
	R3	4か所	23,522件				
	R4	4か所	24,084件				
	R5	4か所	26,993件				
	2 精神障害者コミュニティサロン運営事業：R5年度委託料 11,364,267円						
	創作活動、レクリエーション等の各種活動及び専任指導員による生活相談、生活指導を行い、精神障害者の社会復帰や自立に向けた支援を行った。						
	年度	利用決定者数	延利用者数				
	R3	58人	1,800人				
	R4	55人	1,457人				
	R5	54人	1,417人				
	3 基幹相談支援センター運営事業：R5年度委託料 23,993,141円						
	地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を設置(委託)し、障害者等からの様々な相談に応じるほか、地域の相談支援事業所間の連絡調整、関係機関との連携支援等の業務を行った。						
	年度	人員体制	自立支援協議会・研修会等の開催	相談件数			
	R3	5人	72回	3,923件			
	R4	5人	72回	4,409件			
	R5	5人	92回	5,642件			
	4 障害者相談支援専門員等配置事業：R5年度委託料 7,874,872円						
	基幹相談支援センターに、障害者相談支援専門員を配置し、専門的知識を必要とする困難ケース等への対応等を行った。						
成果	<p>障害のある人やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等の支援を行うことで、障害者のニーズが充足されるとともに、自立促進につながっている。また、相談支援事業者を集めた定例会での情報共有や、自立支援協議会を通じた事例検討会及び学習会を行うことにより、相談支援専門員の質の向上及び相談支援事業所間の連携が図られている。</p> <p>精神障害者の集いの場としてコミュニティサロンを実施することにより、病気・障害等を理由に閉鎖的な生活を余儀なくされている精神障害者の社会参加の促進につながっている。</p>						
成果に係る評価	<p>相談支援事業所及び基幹相談支援センターへの相談件数は年々増加傾向にあり、一人ひとりの相談内容は多岐にわたり複雑化した課題を抱えるものとなっていることから、総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の構築が求められている。</p> <p>複合的な課題に対応するため、より一層の相談員の質の向上及び相談支援を適切に行っていくための連携強化により、引き続き支援体制の充実を図っていく必要がある。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	152,935,000	146,365,008	26,286,000			120,079,008	

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活支援事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	5 目	地域生活支援事業費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実														
	事業	生活支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う														
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P52															
目的及び事業内容	<p>障害者総合支援法に基づき、地域の特性や障害者等の状況に応じて、障害者が自立した生活を営むために必要な事業を柔軟な形態により実施する。</p> <p>事業費としては、国1/2、県1/4の補助金によるものとなっている。</p> <p>【必須事業】成年後見制度利用支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター機能強化事業等</p> <p>【任意事業】日常生活支援（訪問入浴サービス、日中一時支援）、社会参加支援（レクリエーション活動等支援、点字・声の広報等発行）等</p>																		
取組実績	<p>1 成年後見制度利用支援事業…判断能力が不十分な知的障害者や精神障害者等の福祉の増進のため、市長が家庭裁判所に対し成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求等を行う事業だが、R5年度中は審判申立てがなかった。また、低所得者に対し成年後見人等への報酬費用の助成を行った。R5年度 申立て件数：0件、後見人等の報酬助成件数：6件、助成等金額：1,082,000円</p>																		
	<p>2 日常生活用具：R5年度給付費 43,027,944円</p> <p>日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等に対し、日常生活用具費（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修等）を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>417人</td> <td>3,981件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>431人</td> <td>4,118件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実利用数	延利用数	R4	417人	3,981件	R5	431人	4,118件			
	年度	実利用数	延利用数																
	R4	417人	3,981件																
	R5	431人	4,118件																
	<p>3 移動支援（個別・グループ）：R5年度給付費 16,770,117円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <p>個別又は複数（グループ）の障害者等の外出に対し、ホームヘルパーを派遣し、移動の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>16か所</td> <td>138人</td> <td>6,267時間</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>20か所</td> <td>140人</td> <td>6,218時間</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用数	延利用数	R4	16か所	138人	6,267時間	R5	20か所	140人	6,218時間
	年度	事業所数	実利用数	延利用数															
	R4	16か所	138人	6,267時間															
	R5	20か所	140人	6,218時間															
	<p>4 地域活動支援センター：R5年度給付費 22,247,590円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <p>通所による創作的活動や生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進することにより、地域における障害者等の自立の促進と社会参加を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>5か所</td> <td>24人</td> <td>256人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>4か所</td> <td>28人</td> <td>279人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用数	延利用数	R4	5か所	24人	256人	R5	4か所	28人	279人
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R4	5か所	24人	256人																
R5	4か所	28人	279人																
<p>5 訪問入浴サービス：R5年度給付費 25,392,000円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <p>寝たきりの重度障害者に対し、移動入浴車での訪問又は入浴機材の居宅搬入により、入浴の介助、洗濯、入浴前後の健康状態の確認等を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>5か所</td> <td>27人</td> <td>1,946回</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>4か所</td> <td>31人</td> <td>2,082回</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用数	延利用数	R4	5か所	27人	1,946回	R5	4か所	31人	2,082回	
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R4	5か所	27人	1,946回																
R5	4か所	31人	2,082回																
<p>6 日中一時支援：R5年度給付費 33,930,253円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <p>障害者等を一時的に預かることにより、障害者等の日常的な訓練等を行うとともに、障害者等の家族に対する就労支援及び介護負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用数</th> <th>延利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>19か所</td> <td>156人</td> <td>7,092回</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>18か所</td> <td>164人</td> <td>7,727回</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用数	延利用数	R4	19か所	156人	7,092回	R5	18か所	164人	7,727回	
年度	事業所数	実利用数	延利用数																
R4	19か所	156人	7,092回																
R5	18か所	164人	7,727回																
<p>7 声の市報等発行…視覚障害者に音声版（CD）の市報及びガイドブックを配付した。</p> <p>R5年度 委託金額：1,870,000円（委託先：石巻コミュニティ放送株式会社）</p>																			
<p>8 社会参加促進事業補助…障害者の社会参加活動を実施する団体に対し、補助金を交付した。</p> <p>R5年度 補助件数：4件、補助団体数：3団体、補助金額：250,000円</p>																			
<p>9 障害者運転免許取得費・自動車改造費助成金…費用の一部を助成した。</p> <p>R5年度 補助件数（免許）：8件、補助件数（改造）：6件、助成金額：1,339,666円</p>																			
成果	<p>障害者等が地域生活支援事業の各種支援、サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者家族等の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。</p>																		
成果に係る評価	<p>障害者総合支援法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費であるが、ニーズへの対応及び支給決定に基づく概ね適正な事業の実施を行うことができた。</p> <p>今後も、地域の特性や障害の状況に応じて、障害者等が地域で安心して生活することができるよう、また、社会参加の促進を図り自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、事業者等と連携した継続的なサービスの提供が必要である。</p>																		
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源													
	146,760,570	146,208,670	53,069,500			93,139,170													

予算科目	3 款	民生費	事業名	理解促進啓発・自発的活動推進事業																																							
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	5 目	地域生活支援事業費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																						
	事業	理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																						
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53																																							
目的及び事業内容	<p>障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。</p> <p>また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者や地域住民等による地域における自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動、ボランティア活動等）を支援する。</p>																																										
取組実績	<p>1 理解促進啓発研修事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>日程等</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座「障害者とレッツスポーツ」</td> <td></td> <td>4回</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>出前講座「ワンポイント手話講座」</td> <td></td> <td>6回</td> <td>142人</td> </tr> <tr> <td>出前講座「成年後見制度」～親戚き後の障害者支援～</td> <td>7/21</td> <td>1回</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>障害者理解促進講演会「みんなで考えよう（地域）共生社会～障害のある人と共に～」</td> <td>11/22</td> <td>1回</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>障害者就労施設等販売会の開催（市役所1F）</td> <td>毎週水曜日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「ポッチャ体験」等</td> <td>12/1～3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害者週間普及啓発（ヘルプマークの周知、「きりりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援等）</td> <td>12/4～8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害者理解啓発職員研修会</td> <td>3/14</td> <td>1回</td> <td>47人</td> </tr> </tbody> </table>							内 容	日程等	回数	参加人数	出前講座「障害者とレッツスポーツ」		4回	56人	出前講座「ワンポイント手話講座」		6回	142人	出前講座「成年後見制度」～親戚き後の障害者支援～	7/21	1回	32人	障害者理解促進講演会「みんなで考えよう（地域）共生社会～障害のある人と共に～」	11/22	1回	76人	障害者就労施設等販売会の開催（市役所1F）	毎週水曜日			障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「ポッチャ体験」等	12/1～3			障害者週間普及啓発（ヘルプマークの周知、「きりりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援等）	12/4～8			障害者理解啓発職員研修会	3/14	1回	47人
	内 容	日程等	回数	参加人数																																							
	出前講座「障害者とレッツスポーツ」		4回	56人																																							
	出前講座「ワンポイント手話講座」		6回	142人																																							
	出前講座「成年後見制度」～親戚き後の障害者支援～	7/21	1回	32人																																							
	障害者理解促進講演会「みんなで考えよう（地域）共生社会～障害のある人と共に～」	11/22	1回	76人																																							
	障害者就労施設等販売会の開催（市役所1F）	毎週水曜日																																									
	障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「ポッチャ体験」等	12/1～3																																									
	障害者週間普及啓発（ヘルプマークの周知、「きりりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援等）	12/4～8																																									
	障害者理解啓発職員研修会	3/14	1回	47人																																							
<p>2 自発的活動推進事業</p> <p>障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。</p> <p>R5 交付件数：2件 交付金額：58,310円</p>																																											
成果	<p>令和4年度から新たなメニューとして加えた障害者スポーツ（ポッチャ）を体験したり、簡単な手話でコミュニケーションを図る出前講座の希望が多くあり、障害についての関心の高まりの醸成に寄与したと考える。</p>																																										
成果に係る評価	<p>障害の有無にかかわらず、共に安心して暮らせる共生社会の実現を目指すため、障害者等が社会参加等の自発的な取組みを行う際の支援を行うほか、障害に関する理解を深め、より障害についての関心が高められるよう継続した事業の推進が必要である。</p>																																										
（単位：円）																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	433,000	269,675	128,500			141,175																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	意思疎通支援事業																	
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	5 目	地域生活支援事業費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																
	事業	意思疎通支援事業費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P52																	
目的及び事業内容	<p>聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者等のために、手話通訳者及び要約筆記者を派遣するなどの各種事業の実施により、地域生活における意思疎通を円滑にし、社会生活上の利便を図る。</p> <p>① 手話通訳者設置事業 ② 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 ③ 手話奉仕員養成講座事業 等</p>																				
取組実績	<p>1 手話通訳者設置事業 石巻市社会福祉事務所に手話通訳者を設置することにより、庁内窓口における聴覚障害者等との意思疎通の円滑化を図った。</p> <p>・設置人数 1名 ・報酬等経費 R4 2,457,088円 R5 2,590,825円</p>																				
	<p>2 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 意思疎通を図ることが困難な聴覚障害者等に対し、社会生活上必要不可欠な業務の際に手話通訳者・要約筆記者の派遣を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>派遣件数</th> <th>派遣料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>11人</td> <td>129件</td> <td>676,055円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>12人</td> <td>102件</td> <td>534,988円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用者数	派遣件数	派遣料	R4	11人	129件	676,055円	R5	12人	102件	534,988円		
	年度	利用者数	派遣件数	派遣料																	
	R4	11人	129件	676,055円																	
R5	12人	102件	534,988円																		
<p>3 手話奉仕員養成講座事業 手話奉仕員養成講座を実施し、手話で日常会話を行うのに必要な手話語彙及び手話表現技術を修得した手話奉仕員を養成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施内容</th> <th>受講者数</th> <th>講座開催委託料</th> <th>手話奉仕員登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>基礎課程</td> <td>13人</td> <td>428,200円</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>入門課程</td> <td>26人</td> <td>326,000円</td> <td>98人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実施内容	受講者数	講座開催委託料	手話奉仕員登録者数	R4	基礎課程	13人	428,200円	99人	R5	入門課程	26人	326,000円	98人
年度	実施内容	受講者数	講座開催委託料	手話奉仕員登録者数																	
R4	基礎課程	13人	428,200円	99人																	
R5	入門課程	26人	326,000円	98人																	
<p>4 その他の意思疎通支援 市主催の行事に手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等への情報保障を図った。</p> <p>・R4 実施回数 2回 派遣料 140,831円（手話通訳者2名 要約筆記者8名） （子どもの貧困及び障害者理解促進講演会、地域福祉講演会） ・R5 実施回数 2回 派遣料 90,236円（手話通訳者5名 要約筆記者4名） （障害者理解促進講演会及び地域福祉講演会）</p>																					
成果	石巻市社会福祉事務所に手話通訳者を設置し、窓口での相談や手続きがスムーズに行えるよう支援を行った。また、医療機関への受診時や研修等の参加時に手話通訳者を派遣することで、聴覚障害のある人の社会参加の促進を図ることができた。																				
成果に係る評価	手話通訳者及び要約筆記者の派遣事業は、聴覚障害者等の情報保障及び社会生活上で必要となる円滑なコミュニケーションのために必要不可欠な支援である。また、手話奉仕員の養成研修を行うことで、聴覚障害者への理解を深め、聴覚障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、今後も事業を継続していく必要がある。																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	3,843,000	3,580,105	1,449,000			2,131,105															

予算科目	3 款	民生費	事業名	特別障害者手当等措置事業															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	6 目	特別障害者手当等措置費		第 3 節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実														
	事業	特別障害者手当等措置費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う														
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53															
目的及び事業内容	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当及び障害児福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>																		
取組実績	<p>1 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <p>・R5 支給額：50,182,540円 受給者数：148人 手当月額：27,980円</p>																		
	<p>2 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <p>・R5 支給額：9,292,860円 受給者数：51人 手当月額：15,220円</p>																		
	<p>3 手当制度の周知 ・市ホームページ、市報への掲載 ・障害者手帳交付時等において、重度の障害者については制度の説明を行い、申請を促した。 ・石巻市ケアマネジャー説明会において、制度説明を行った。</p>																		
成果	<p>手当を支給することで、在宅で生活している重度障害者等への生活支援の一助として、経済的支援を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規認定請求件数</th> <th>受給者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>20件</td> <td>188人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>40件</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>18件</td> <td>199人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受給者数は各年度末時点の人数</p>							年度	新規認定請求件数	受給者数	R3	20件	188人	R4	40件	200人	R5	18件	199人
年度	新規認定請求件数	受給者数																	
R3	20件	188人																	
R4	40件	200人																	
R5	18件	199人																	
成果に係る評価	令和4年度に比べ令和5年度の認定請求数は大幅に減少した。身体や精神に著しい障害があり、日常生活において常時特別の介護を要している者を対象とした事業であることから申請件数が少ないに越したことはないが、取りこぼしのないよう引き続き広報や説明会による周知の徹底に務める。																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	60,900,000	59,655,400	45,308,011			14,347,389													

予算科目	3 款	民生費	事業名	心身障害者医療対策事業																																																												
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																											
	7 目	心身障害者医療助成費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実																																																											
	事業	心身障害者医療助成費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う																																																											
担当部課	保健福祉部障害福祉課	実施計画掲載ページ		P53																																																												
目的及び事業内容	<p>重・中度心身障害者の医療費を助成することにより、適正な医療を受ける機会を確保するとともに、経済的負担の軽減を図る。</p> <p>助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。</p> <p>中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。</p>																																																															
取組実績	<p>重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">受給者数</td> <td>重度心身障害者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>身体障害 1級</td> <td>1,721人</td> <td>1,696人</td> <td>1,659人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 2級</td> <td>593人</td> <td>575人</td> <td>554人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 3級</td> <td>249人</td> <td>259人</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>療育A</td> <td>373人</td> <td>358人</td> <td>365人</td> </tr> <tr> <td>特別児童 1級</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>精神障害 1級</td> <td>95人</td> <td>101人</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3,033人</td> <td>2,992人</td> <td>2,932人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別児童 2級</td> <td>52人</td> <td>13人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>52人</td> <td>13人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,085人</td> <td>3,005人</td> <td>2,955人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>295,783,336円</td> <td>286,755,849円</td> <td>287,726,874円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者が適用 ※令和4年4月1日から子ども医療費助成制度の対象年齢が18歳到達年度末日まで拡大</p>								R3	R4	R5	受給者数	重度心身障害者				身体障害 1級	1,721人	1,696人	1,659人	身体障害 2級	593人	575人	554人	身体障害 3級	249人	259人	252人	療育A	373人	358人	365人	特別児童 1級	2人	3人	0人	精神障害 1級	95人	101人	102人	小計	3,033人	2,992人	2,932人	中度心身障害者				特別児童 2級	52人	13人	23人	小計	52人	13人	23人	合計	3,085人	3,005人	2,955人	助成額	295,783,336円	286,755,849円	287,726,874円
		R3	R4	R5																																																												
受給者数	重度心身障害者																																																															
	身体障害 1級	1,721人	1,696人	1,659人																																																												
	身体障害 2級	593人	575人	554人																																																												
	身体障害 3級	249人	259人	252人																																																												
	療育A	373人	358人	365人																																																												
	特別児童 1級	2人	3人	0人																																																												
	精神障害 1級	95人	101人	102人																																																												
	小計	3,033人	2,992人	2,932人																																																												
	中度心身障害者																																																															
	特別児童 2級	52人	13人	23人																																																												
小計	52人	13人	23人																																																													
合計	3,085人	3,005人	2,955人																																																													
助成額	295,783,336円	286,755,849円	287,726,874円																																																													
成果	<p>重度・中度心身障害者に対し、医療費の負担軽減による積極的な医療の提供を行うことで、障害者福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>83,102件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>81,669件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>84,238件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	助成件数	R3	83,102件	R4	81,669件	R5	84,238件																																																		
年度	助成件数																																																															
R3	83,102件																																																															
R4	81,669件																																																															
R5	84,238件																																																															
成果に係る評価	<p>対象者数は減少傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがあった令和4年度に比べ助成件数は大幅な増加となった。今後も制度の継続実施により、重度・中度障害者が安心して必要な医療を受けられる体制の維持が必要である。</p>																																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																																															
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
312,462,000	294,675,096	142,527,000		2,225,309	149,922,787																																																											

予算科目	3 款	民生費	事業名	子ども医療費助成事業																																																																																												
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																											
	8 目	子ども医療対策費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																											
	事業	子ども医療対策費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																																											
担当部課	保健福祉部保険年金課	実施計画掲載ページ		P42																																																																																												
目的及び事業内容	<p>子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、0歳から18歳到達年度末日までの入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。</p>																																																																																															
取組実績	<p>0歳から18歳到達年度末日までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>【受給者内訳】 (令和6年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">受給者証登録者数</td> <td>対象者数</td> <td>17,378人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>県補助対象※1</td> <td>4,130人</td> <td>23.77%</td> </tr> <tr> <td>独自拡大対象※2</td> <td>13,117人</td> <td>75.48%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,247人</td> <td>99.25%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受給者証未登録者数</td> <td>131人</td> <td>0.75%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 県補助対象：義務教育就学前 ※2 独自拡大対象：小学生以上</p>								人数	割合	受給者証登録者数	対象者数	17,378人	-	県補助対象※1	4,130人	23.77%	独自拡大対象※2	13,117人	75.48%	計	17,247人	99.25%	受給者証未登録者数		131人	0.75%																																																																					
		人数	割合																																																																																													
受給者証登録者数	対象者数	17,378人	-																																																																																													
	県補助対象※1	4,130人	23.77%																																																																																													
	独自拡大対象※2	13,117人	75.48%																																																																																													
	計	17,247人	99.25%																																																																																													
受給者証未登録者数		131人	0.75%																																																																																													
成果	<p>医療費の一部負担金（義務教育就学前は2割、小学生以上は3割）の助成により子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【一部負担金の助成状況】 (助成額の単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>国保</td> <td>2,085人</td> <td>9,222</td> <td>16,538,573</td> <td>14,121</td> <td>29,230,142</td> <td>23,343</td> <td>45,768,715</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,109人</td> <td>73,158</td> <td>129,094,338</td> <td>104,725</td> <td>218,654,469</td> <td>177,883</td> <td>347,748,807</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,194人</td> <td>82,380</td> <td>145,632,911</td> <td>118,846</td> <td>247,884,611</td> <td>201,226</td> <td>393,517,522</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>国保</td> <td>2,460人</td> <td>7,970</td> <td>13,050,630</td> <td>17,349</td> <td>37,001,098</td> <td>25,319</td> <td>50,051,728</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>15,457人</td> <td>66,730</td> <td>113,285,338</td> <td>131,089</td> <td>283,216,649</td> <td>197,819</td> <td>396,501,987</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,917人</td> <td>74,700</td> <td>126,335,968</td> <td>148,438</td> <td>320,217,747</td> <td>223,138</td> <td>446,553,715</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R5</td> <td>国保</td> <td>2,314人</td> <td>8,955</td> <td>14,875,446</td> <td>20,344</td> <td>46,155,265</td> <td>29,299</td> <td>61,030,711</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>14,933人</td> <td>79,913</td> <td>134,764,938</td> <td>161,415</td> <td>356,252,727</td> <td>241,328</td> <td>491,017,665</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,247人</td> <td>88,868</td> <td>149,640,384</td> <td>181,759</td> <td>402,407,992</td> <td>270,627</td> <td>552,048,376</td> </tr> </tbody> </table>						年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額	R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522	R4	国保	2,460人	7,970	13,050,630	17,349	37,001,098	25,319	50,051,728	社保	15,457人	66,730	113,285,338	131,089	283,216,649	197,819	396,501,987	計	17,917人	74,700	126,335,968	148,438	320,217,747	223,138	446,553,715	R5	国保	2,314人	8,955	14,875,446	20,344	46,155,265	29,299	61,030,711	社保	14,933人	79,913	134,764,938	161,415	356,252,727	241,328	491,017,665	計	17,247人	88,868	149,640,384	181,759	402,407,992	270,627	552,048,376
年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象					計																																																																																						
			件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額																																																																																								
R3	国保	2,085人	9,222	16,538,573	14,121	29,230,142	23,343	45,768,715																																																																																								
	社保	13,109人	73,158	129,094,338	104,725	218,654,469	177,883	347,748,807																																																																																								
	計	15,194人	82,380	145,632,911	118,846	247,884,611	201,226	393,517,522																																																																																								
R4	国保	2,460人	7,970	13,050,630	17,349	37,001,098	25,319	50,051,728																																																																																								
	社保	15,457人	66,730	113,285,338	131,089	283,216,649	197,819	396,501,987																																																																																								
	計	17,917人	74,700	126,335,968	148,438	320,217,747	223,138	446,553,715																																																																																								
R5	国保	2,314人	8,955	14,875,446	20,344	46,155,265	29,299	61,030,711																																																																																								
	社保	14,933人	79,913	134,764,938	161,415	356,252,727	241,328	491,017,665																																																																																								
	計	17,247人	88,868	149,640,384	181,759	402,407,992	270,627	552,048,376																																																																																								
成果に係る評価	<p>0歳から18歳到達年度末日までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成したことにより、子どもの健康保持、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>また、医療費助成を受けるための受給資格登録の促進を図るため、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌（子育てハンドブック等）による周知並びに未申請者に対し申請案内を送付した。</p> <p>今後も子どもの適正な医療機会の確保並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続する必要がある。</p>																																																																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																															
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																														
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																											
608,638,000	568,258,458	141,041,000	57,000,000		370,217,458																																																																																											

予算科目	3 款	民生費	事業名	青少年健全育成事業																															
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																														
	11 目	市民相談センター費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																														
	事業	少年センター運営費		(2)	青少年の健全な成長を支援する																														
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P 97																															
目的及び事業内容	<p>少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、青少年の健全な育成を図る。</p>																																		
取組実績	<p>1 少年補導による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、川開き祭り特別街頭指導、県下一斉街頭指導等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員144名により、少年非行の早期発見、未然防止及び青少年の健全育成を目的に、大型商業施設、カラオケ店、駅、公園などを中心に実施した。</p> <p>2 少年相談 進路等に関する教育相談や生活面の問題などに悩む保護者等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、年4回児童の下校時に同行し、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体が構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進のための支援を行った。</p>																																		
成果	<p>学校や地域等の関係機関との有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p><街頭補導実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>出勤延人数</th> <th>声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>433回</td> <td>1,177人</td> <td>313件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>403回</td> <td>1,133人</td> <td>414件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>417回</td> <td>1,192人</td> <td>296件</td> </tr> </tbody> </table> <p><少年相談実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>9件</td> <td>14件</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数	R3		433回	1,177人	313件	R4		403回	1,133人	414件	R5		417回	1,192人	296件	年度	R3	R4	R5	件数	9件	14件	15件
年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数																															
R3		433回	1,177人	313件																															
R4		403回	1,133人	414件																															
R5		417回	1,192人	296件																															
年度	R3	R4	R5																																
件数	9件	14件	15件																																
成果に係る評価	<p>街頭指導については、放課後児童クラブ等で過ごす子どもの数も増え、帰宅時間が多様化している状況の中で声掛けされた子どもの総数は減少しているものの、少年補導員の出勤回数及び人数はともに令和4年度より増加傾向にあり、子どもたちに対する健全育成、事故防止、不審者抑止の対策が図られた。</p> <p>少年センターにおける少年相談については、相談機関の多様化に伴い、近年横ばいに推移している傾向にあり、令和5年度は教育相談と生活相談で約9割を占めており、不登校相談は減少している。</p> <p>地域ぐるみで見守る様々な取組みが、子どもたちの健全育成の一助となっているため、家庭や学校、地域社会、関係各機関が一体となった活動を今後も継続していく必要がある。</p>																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
予算額	7,784,000	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		7,326,326	300,000			7,026,326																													

予算科目	3 款	民生費	事業名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																																																																																																												
	1 項	社会福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																											
	11 目	市民相談センター費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																																																																																											
	事業	市民相談センター事業費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																																																																																																											
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P 61																																																																																																																																												
目的及び事業内容	<p>子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談を一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げることにより市民生活の利便性と福祉の向上を図る。</p> <p>また、専門的事業の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。</p>																																																																																																																																															
取組実績	<p>1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。</p> <p>2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育支援訪問利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談など</p> <p>3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）</p>																																																																																																																																															
成果	<p>相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援助を行った。</p> <p>また、無料法律相談を実施することにより、専門的事業の早期解決の一助を担った。</p> <p>1 市民相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>63</td> <td>2</td> <td>69</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>8</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>34</td> <td>4</td> <td>181</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>89</td> <td>4</td> <td>78</td> <td>10</td> <td>19</td> <td>61</td> <td>15</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>27</td> <td>198</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>45</td> <td>9</td> <td>61</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>66</td> <td>9</td> <td>56</td> <td>97</td> <td>85</td> <td>17</td> <td>144</td> <td>605</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 家庭児童相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>離婚</th> <th>婦人特有</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>43</td> <td>16</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>31</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>56</td> <td>59</td> <td>103</td> <td>75</td> <td>7</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>38</td> <td>117</td> <td>57</td> <td>127</td> <td>23</td> <td>362</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 無料法律相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>回数</th> <th>金銭貸借</th> <th>不動産</th> <th>相続</th> <th>離婚</th> <th>親族</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>24</td> <td>49</td> <td>28</td> <td>46</td> <td>33</td> <td>11</td> <td>48</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>24</td> <td>66</td> <td>18</td> <td>47</td> <td>31</td> <td>13</td> <td>47</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>24</td> <td>60</td> <td>14</td> <td>55</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>45</td> <td>209</td> </tr> </tbody> </table>							年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537	R4		89	4	78	10	19	61	15	60	54	53	27	198	668	R5		45	9	61	5	11	66	9	56	97	85	17	144	605	年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計	家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他	R3		43	16	80	78	31	248	R4		56	59	103	75	7	300	R5		38	117	57	127	23	362	年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	R3		24	49	28	46	33	11	48	215	R4		24	66	18	47	31	13	47	222	R5		24	60	14	55	24	11	45	209
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																																																																																																		
R3		63	2	69	7	7	45	8	59	58	34	4	181	537																																																																																																																																		
R4		89	4	78	10	19	61	15	60	54	53	27	198	668																																																																																																																																		
R5		45	9	61	5	11	66	9	56	97	85	17	144	605																																																																																																																																		
年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計																																																																																																																																									
		家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他																																																																																																																																										
R3		43	16	80	78	31	248																																																																																																																																									
R4		56	59	103	75	7	300																																																																																																																																									
R5		38	117	57	127	23	362																																																																																																																																									
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																																																																																																							
R3		24	49	28	46	33	11	48	215																																																																																																																																							
R4		24	66	18	47	31	13	47	222																																																																																																																																							
R5		24	60	14	55	24	11	45	209																																																																																																																																							
成果に係る評価	<p>市民相談の件数については、令和4年度に比べ若干減少傾向にあるが、内容は単一の相談にとどまらず様々な要因が重なった相談が増えている。家庭児童相談については前年度より大幅に相談件数が増加し、複雑化・多様化する相談に対して継続的に関わっている事例が多い。また、専門的知識を要する相談については、弁護士による無料法律相談を案内し、毎月予定数に達している状況である。</p> <p>今後も関係機関・団体と連携し、市民が抱える問題解決に向けて必要な支援を行っていく必要がある。</p>																																																																																																																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																																															
予算額	4,270,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																										
		4,215,824				4,215,824																																																																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	事業名	要保護児童対策事業																																																																			
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																		
	12 目	権利擁護推進費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																		
	事業	要保護児童対策事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																																																		
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P44																																																																			
目的及び事業内容	<p>要保護児童対策地域協議会の支援の対象者は、要保護児童（保護者に監護させることが不適当であると認められる児童等）、要支援児童（保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童等）、特定妊婦（出産後の養育について出産前において特に支援が必要とされる妊婦）であり、要保護児童等に対する適切な支援を行うために、各関係機関と情報交換を行いながら、それぞれのケースに対応した支援を協議し速やかに対応する。また、リーフレット等の作成・配布などの啓発を通して虐待に対する認識を深める。</p>																																																																						
取組実績	<p>1 石巻市要保護児童対策地域協議会 (1) 代表者会議の開催 令和5年度 1回開催 各分野の関係機関の代表者19人で構成され、要保護児童等の現状と支援に関する全体把握について情報を共有した。 (2) 実務者会議の開催（令和5年度 進行管理ケース数：市273人、児相422人 合計695人） ア 全体実務者会議 令和5年度 1回開催 イ ブロック別実務者会議 10回（4ブロック×1回・3ブロック×3回） 進行管理している各ケースの情報共有と今後の支援策について確認した。 (3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む）32回 各ケースの状況把握と問題点の確認を行い、支援の役割分担等について協議した。 2 児童虐待防止啓発事業 (1) 児童虐待防止講演会等の啓発活動 ア 子どもの貧困・虐待の理解促進に向けた意識啓発と子育て家庭を支援する体制の強化を図ることを目的に子育て支援課と合同で開催した。 日時：令和5年8月19日 場所：ささえあいセンター 参加者：90人 イ 出前講座等 38人（児童虐待防止関連）1回 (2) リーフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び各関係部署に配布 1,000枚 3 専門カウンセリング事業 保護者やDV被害者の心理的なケア、支援を行うため、心理カウンセラー等によるカウンセリングを実施した。 実利用者10人 延べ利用者39人 4 ヤングケアラーに関する事業 (1) ヤングケアラー基礎研修会 34人（介護、障害相談事業所、学校関係等庁内関係部署） (2) 11月虐待防止月間でのポスター、チラシ配布 (3) 校長会、養護教諭部会での個別相談窓口の周知等</p>																																																																						
成果	<p>関係機関との連携により、要保護児童等の重症化防止と安全確保が図られた。 <対応実績> (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 年度</th> <th colspan="3">新規 (再起含む)</th> <th colspan="3">前年度からの 継続</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="3">終結ケース (再掲)</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>110</td> <td>242</td> <td>352</td> <td>129</td> <td>90</td> <td>219</td> <td>239</td> <td>332</td> <td>571</td> <td>124</td> <td>137</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>113</td> <td>264</td> <td>377</td> <td>128</td> <td>171</td> <td>299</td> <td>241</td> <td>435</td> <td>676</td> <td>79</td> <td>299</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>135</td> <td>282</td> <td>417</td> <td>138</td> <td>140</td> <td>278</td> <td>273</td> <td>422</td> <td>695</td> <td>111</td> <td>278</td> <td>389</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 児相：宮城県東部児童相談所</p>							区分 年度	新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合計			終結ケース (再掲)			市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	R3	110	242	352	129	90	219	239	332	571	124	137	261	R4	113	264	377	128	171	299	241	435	676	79	299	378	R5	135	282	417	138	140	278	273	422	695	111	278	389
区分 年度	新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合計			終結ケース (再掲)																																																													
	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																																											
R3	110	242	352	129	90	219	239	332	571	124	137	261																																																											
R4	113	264	377	128	171	299	241	435	676	79	299	378																																																											
R5	135	282	417	138	140	278	273	422	695	111	278	389																																																											
成果に係る評価	<p>本市における要保護児童等の対応件数は年々増加傾向にあり、児童虐待に対する社会的関心の高まりや、各関係機関の早期発見や把握による通報数が増加していると考えられる。相談案件は複雑化し、多分野に渡るが、要保護児童等のもつ課題や必要な支援方法をより明確化して支援にあたり、進行管理に努めることで、虐待リスクが低減し終結ケースがR4年度より増加した。ヤングケアラー支援については、児童や保護者の自覚がなく、支援が必要でも表面化しにくい、周囲が気づく体制を構築することが重要とされており、関係機関を対象とする基礎研修会をR4年度から実施し、発見や支援策について分野の垣根を越えた多職種連携が図られるよう務めた。専門カウンセリング事業では、子育てや生活に不安を抱える対象者の心理的ケアが図られたが、今後は、必要な対象者に相談を勧奨し、児童虐待防止の支援の充実に努めていく。</p>																																																																						
予算の執行状況	<p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,613,000</td> <td>3,445,175</td> <td>1,520,000</td> <td></td> <td></td> <td>1,925,175</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	3,613,000	3,445,175	1,520,000			1,925,175																																																
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																					
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																		
3,613,000	3,445,175	1,520,000			1,925,175																																																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	虐待防止事業																																																																																
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																															
	12 目	権利擁護推進費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																																															
	事業	虐待防止センター事業費		(4)	各種虐待防止・DV被害者支援を強化する																																																																															
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P61																																																																																
目的及び事業内容	<p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）は尊厳を著しく侵害し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぎ、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。 また、事案の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待やDV対応への専門的知識を有する職員を配置し体制整備する。また虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業を実施する。</p>																																																																																			
取組実績	<p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立のための支援を実施し、重症化の防止を図るとともに、各種虐待、DV防止の啓発に取り組んだ。 1 高齢者虐待防止事業 (1) 老人特別保護措置：令和5年度利用人数 1人（施設入所契約） (2) 緊急一時保護事業：令和5年度利用人数 2人 (3) 市営住宅の目的外使用：令和5年度 1件 (4) 高齢者権利擁護委託事業：権利擁護支援のため弁護士相談委託 10件 2 障害者虐待防止事業 (1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業：令和5年度利用人数 0人 (2) 緊急一時保護事業：令和5年度利用人数 1人 3 DV被害者支援事業 (1) DV被害者支援施策 ア 緊急一時保護事業：令和5年度利用実績 1人 イ 母子生活支援施設入所措置 0件 ウ 保護命令申請同行支援事業：令和5年度意見書提出人数 1人 エ 住民基本台帳事務における支援措置（住民票、戸籍附票等の閲覧制限）：令和5年度実績 22人 オ 市営住宅の目的外使用：令和5年度 5件 カ 来所相談に関する証明書発行：令和5年度 14人 (2) 専門カウンセリング及び弁護士相談による助言 4 虐待・DV防止の啓発事業 (1) パンフレットの作成（高齢者・障害者虐待及びDV） (2) ラジオ石巻による放送 週2回 (3) 出前講座等（高齢者、障害者虐待）：令和5年度 7回 230人（地域包括支援センター・居宅介護事業所・訪問看護・施設従事者等）</p>																																																																																			
成果	<p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発活動等を実施するとともに、要援護者・被害者等に対し、迅速かつ適切な支援を実施した。 1 各種虐待の新規相談実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">虐待種別</th> <th colspan="3">R3</th> <th colspan="3">R4</th> <th colspan="3">R5</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>相談件数</th> <th>虐待確認</th> <th>一時保護</th> <th>入所措置</th> <th>相談件数</th> <th>虐待確認</th> <th>一時保護</th> <th>入所措置</th> <th>相談件数</th> <th>虐待確認</th> <th>一時保護</th> <th>入所措置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>96</td> <td>68</td> <td>62</td> <td>94</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>126</td> <td>140</td> <td>157</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>146</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>							虐待種別	R3			R4			R5			合計			相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置	相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置	相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置	高齢者	75	75	96	68	62	94	3	1	2	2	2	1	障害者	14	23	31	14	19	27	2	2	1	1	0	0	DV・女性相談	37	42	30	26	35	25	1	0	1	0	0	1	合計	126	140	157	108	116	146	6	3	4	3	2	2
虐待種別	R3			R4			R5			合計																																																																										
	相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置	相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置	相談件数	虐待確認	一時保護	入所措置																																																																								
高齢者	75	75	96	68	62	94	3	1	2	2	2	1																																																																								
障害者	14	23	31	14	19	27	2	2	1	1	0	0																																																																								
DV・女性相談	37	42	30	26	35	25	1	0	1	0	0	1																																																																								
合計	126	140	157	108	116	146	6	3	4	3	2	2																																																																								
成果に係る評価	<p>本市における近年の高齢者及び障害者虐待の相談件数は年々増加傾向にある。相談内容は複雑化し、困難事例については1件の相談に対する対応回数が増加しており、介護や障害サービスの調整等、地域包括支援センターや障害者相談支援事業所等と連携し対応している。 DV・女性相談は、相談件数は減少したが、配偶者等からの暴力の危険性により、早急に避難を勧めるなど、支援の緊急性を迫られる事案が複数あった。また被害者の安全確保や、配偶者等と分離後の生活の自立への支援が多分野に渡り、関係機関と連携して行った。今後も、証明書発行や保護命令関係業務等を通して、自立に向けた適切な支援を行っていく。 また、各種虐待及びDV防止について、関係機関へのチラシでの周知を継続し、さらに令和5年度は関係機関からの出前講座の依頼が増加し、虐待やその対応に関する知識の普及啓発が図られた。</p>																																																																																			
予算の執行状況	<p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,554,000</td> <td>9,552,192</td> <td>7,966,000</td> <td></td> <td></td> <td>1,586,192</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	11,554,000	9,552,192	7,966,000			1,586,192																																																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
11,554,000	9,552,192	7,966,000			1,586,192																																																																															

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活困窮者自立支援事業																																																											
	1 項	社会福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																										
	13 目	生活困窮者自立支援費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																										
	事業	自立相談支援事業費、住居確保給付事業費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																										
担当部課	保健福祉部保護課	実施計画掲載ページ		P59																																																											
目的及び事業内容	「各種制度の狭間」にある生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する支援や情報の提供等によって、課題が複雑化・深刻化する前に、困窮状態からの脱却を支援することで、自立の促進・生活の安定を図る。																																																														
取組実績	<p>1 自立相談支援事業（必須事業） 生活困窮者からの相談を受け、その抱えている課題を整理・評価・分析し、個々相談内容に応じた支援を計画的かつ継続的に行い、自立助長や生活の安定が図られた。</p> <p>2 住居確保給付事業（必須事業） 離職等により住居を失うおそれがある者等に対して、求職活動を要件に住居確保給付金を支給し、安定した住居の確保と就労の自立を援助することで生活基盤の安定を図った。</p> <p>3 就労準備支援事業（任意事業） 一般就労に向け手厚い支援が必要な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、委託事業者とともに当該者に見合った支援計画を作成し就労の前段階として必要な生活習慣の形成や就労意欲の向上を図った。</p> <p>4 家計改善支援事業（任意事業） 生活困窮世帯の家計管理において、収入・支出の見える化を図り、金銭管理能力を身につける支援計画を委託事業者と共に作成し実施した。</p> <p>5 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 貧困連鎖の防止のため、家庭の諸事情で学習塾や放課後児童クラブに通えない子供に対し、学びの場の提供や居場所の提供、親の養育相談等を通じ様々な変化する課題に対し家庭全体への支援を図った。</p>																																																														
成果	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行により、相談件数は前年度に比べ大幅に減少したが、複合的な課題を抱える相談がほとんどであり、相談者に寄り添いながら課題を的確に把握し、必要な情報提供や助言などを計画的かつ包括的に支援したことで、相談者の自立助長や生活の安定が図られた。 また、離職や減収により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給したことにより、住居及び就労機会等の確保が図られた。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="7">自立相談支援事業</th></tr> <tr><th>年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th></th></tr> <tr><td>延べ相談件数</td><td>395件</td><td>1,034件</td><td>1,196件</td><td>1,298件</td><td>420件</td><td></td></tr> <tr><td>新規相談申請件数</td><td>135件</td><td>212件</td><td>256件</td><td>161件</td><td>138件</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="7">住居確保給付事業</th></tr> <tr><th>年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th></th></tr> <tr><td>申請件数</td><td>1件</td><td>25件</td><td>11件</td><td>14件</td><td>0件</td><td></td></tr> <tr><td>支給件数</td><td>1件</td><td>21件</td><td>10件</td><td>11件</td><td>1件</td><td></td></tr> </table>							自立相談支援事業							年度	R1	R2	R3	R4	R5		延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件	1,298件	420件		新規相談申請件数	135件	212件	256件	161件	138件		住居確保給付事業							年度	R1	R2	R3	R4	R5		申請件数	1件	25件	11件	14件	0件		支給件数	1件	21件	10件	11件	1件	
自立相談支援事業																																																															
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																										
延べ相談件数	395件	1,034件	1,196件	1,298件	420件																																																										
新規相談申請件数	135件	212件	256件	161件	138件																																																										
住居確保給付事業																																																															
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																										
申請件数	1件	25件	11件	14件	0件																																																										
支給件数	1件	21件	10件	11件	1件																																																										
成果に係る評価	生活困窮者が抱える多様で複合的な課題を包括的に受け止め、深刻化する前に情報提供や各関係機関へのつなぎにより、生活保護の手前で経済的な自立に導くことや、窮迫の程度によっては速やかに生活保護の受給へと繋げることが本事業の強みであると言える。 また、離職や住居を失うおそれのある相談者に対し、住居確保給付金を支給したことで、安定した住居の確保と就労自立が図られている。しかし、本制度に対する市民の認知度が低いため、広く市民との関わりを持つケアマネジャーや社会福祉協議会の生活支援コーディネーター、NPO等の団体とも情報交換や連携し、更なる制度の周知活動と対象者の掘り起しを行い、生活困窮に悩む市民の課題解決を図る必要がある。																																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
	76,092,000	71,241,242	42,501,320			28,739,922																																																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	敬老祝金支給事業																																																																																							
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																						
	1 目	老人福祉総務費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																																						
	事業	敬老祝金支給事業費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																																																																						
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P48																																																																																							
目的及び事業内容	88歳を迎える高齢者に敬老祝金、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																																																																																										
取組実績	<p>1 敬老祝金等支給実績</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>区分</th><th>金額</th><th>人数</th><th>支給額</th></tr> <tr><td rowspan="3">R3</td><td>88歳</td><td>10,000円</td><td>982人</td><td>9,820,000円</td></tr> <tr><td rowspan="2">100歳</td><td>50,000円</td><td>2人</td><td>100,000円</td></tr> <tr><td>100,000円</td><td>61人</td><td>6,100,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td>1,045人</td><td>16,020,000円</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>区分</th><th>金額</th><th>人数</th><th>支給額</th></tr> <tr><td rowspan="3">R4</td><td>88歳</td><td>10,000円</td><td>1,004人</td><td>10,040,000円</td></tr> <tr><td rowspan="2">100歳</td><td>50,000円</td><td>4人</td><td>200,000円</td></tr> <tr><td>100,000円</td><td>56人</td><td>5,600,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td>1,064人</td><td>15,840,000円</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>区分</th><th>金額</th><th>人数</th><th>支給額</th></tr> <tr><td rowspan="3">R5</td><td>88歳</td><td>10,000円</td><td>1,016人</td><td>10,160,000円</td></tr> <tr><td rowspan="2">100歳</td><td>50,000円</td><td>2人</td><td>100,000円</td></tr> <tr><td>100,000円</td><td>62人</td><td>6,200,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td>1,080人</td><td>16,460,000円</td></tr> </table> <p>2 受給資格及び支給額</p> <table border="1"> <tr><th>祝金</th><th>受給資格者</th><th>支給額</th></tr> <tr><td>敬老祝金 88歳</td><td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td rowspan="3">特別敬老祝金 100歳</td><td rowspan="3">100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者</td><td>H30～R2 3年以上10年未満</td><td>75,000円</td></tr> <tr><td>10年以上</td><td>150,000円</td></tr> <tr><td>R3以降 3年以上10年未満</td><td>50,000円</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>10年以上</td><td>100,000円</td></tr> </table> <p>※高齢者人口の増加に伴う事業費の増加のため、平成30年度より特別敬老祝金の金額を改定し、令和2年度までは経過措置期間とした。</p>							年度	区分	金額	人数	支給額	R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円	100歳	50,000円	2人	100,000円	100,000円	61人	6,100,000円	計			1,045人	16,020,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	R4	88歳	10,000円	1,004人	10,040,000円	100歳	50,000円	4人	200,000円	100,000円	56人	5,600,000円	計			1,064人	15,840,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	R5	88歳	10,000円	1,016人	10,160,000円	100歳	50,000円	2人	100,000円	100,000円	62人	6,200,000円	計			1,080人	16,460,000円	祝金	受給資格者	支給額	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円	特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30～R2 3年以上10年未満	75,000円	10年以上	150,000円	R3以降 3年以上10年未満	50,000円			10年以上	100,000円
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
R3	88歳	10,000円	982人	9,820,000円																																																																																							
	100歳	50,000円	2人	100,000円																																																																																							
		100,000円	61人	6,100,000円																																																																																							
計			1,045人	16,020,000円																																																																																							
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
R4	88歳	10,000円	1,004人	10,040,000円																																																																																							
	100歳	50,000円	4人	200,000円																																																																																							
		100,000円	56人	5,600,000円																																																																																							
計			1,064人	15,840,000円																																																																																							
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
R5	88歳	10,000円	1,016人	10,160,000円																																																																																							
	100歳	50,000円	2人	100,000円																																																																																							
		100,000円	62人	6,200,000円																																																																																							
計			1,080人	16,460,000円																																																																																							
祝金	受給資格者	支給額																																																																																									
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																																																																																									
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30～R2 3年以上10年未満	75,000円																																																																																								
		10年以上	150,000円																																																																																								
		R3以降 3年以上10年未満	50,000円																																																																																								
		10年以上	100,000円																																																																																								
成果	高齢者に対し、敬老祝金等を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表することができた。																																																																																										
成果に係る評価	長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、祝金を支給することで、高齢者自身の生活の向上に努める意欲を促すとともに、高齢者福祉への関心が深まり、福祉の向上が図られた。																																																																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																					
	19,781,000	16,670,543				16,670,543																																																																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	老人クラブ活動費補助事業																																	
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	1 目	老人福祉総務費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																
	事業	高齢者福祉推進事業費		(1)	高齢者の生きがいをづくりを推進する																																
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P48																																	
目的及び事業内容		高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。																																			
取組実績	1 老人クラブに対する補助金																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準</th> <th>単価</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10人以上35人未満</td> <td>34,000円</td> <td>39クラブ</td> <td>793人</td> <td>1,326,000円</td> </tr> <tr> <td>35人以上70人未満</td> <td>50,000円</td> <td>10クラブ</td> <td>446人</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>70人以上100人未満</td> <td>60,000円</td> <td>0クラブ</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>100人以上</td> <td>70,000円</td> <td>0クラブ</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>49クラブ</td> <td>1,239人</td> <td>1,826,000円</td> </tr> </tbody> </table>							基準	単価	クラブ数	会員数	金額	10人以上35人未満	34,000円	39クラブ	793人	1,326,000円	35人以上70人未満	50,000円	10クラブ	446人	500,000円	70人以上100人未満	60,000円	0クラブ	0人	0円	100人以上	70,000円	0クラブ	0人	0円	計		49クラブ	1,239人	1,826,000円
	基準	単価	クラブ数	会員数	金額																																
10人以上35人未満	34,000円	39クラブ	793人	1,326,000円																																	
35人以上70人未満	50,000円	10クラブ	446人	500,000円																																	
70人以上100人未満	60,000円	0クラブ	0人	0円																																	
100人以上	70,000円	0クラブ	0人	0円																																	
計		49クラブ	1,239人	1,826,000円																																	
2 老人クラブ連合会に対する補助金																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本割</td> <td>1,143,000円</td> </tr> <tr> <td>会員数割</td> <td>150円 × 1,239人 = 185,850円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,328,850円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※会員数割の基準日は4月1日</p>							内訳	金額	基本割	1,143,000円	会員数割	150円 × 1,239人 = 185,850円	計	1,328,850円																							
内訳	金額																																				
基本割	1,143,000円																																				
会員数割	150円 × 1,239人 = 185,850円																																				
計	1,328,850円																																				
3 クラブ数及び会員数推移（年度末数値）																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>64クラブ</td> <td>1,860人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>57クラブ</td> <td>1,470人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>49クラブ</td> <td>1,239人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	クラブ数	会員数	R3	64クラブ	1,860人	R4	57クラブ	1,470人	R5	49クラブ	1,239人																			
年度	クラブ数	会員数																																			
R3	64クラブ	1,860人																																			
R4	57クラブ	1,470人																																			
R5	49クラブ	1,239人																																			
成果		各老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付し、老人クラブ等の自主的活動を支援することで、地域社会及び関係諸団体等との社会交流が促進され、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。																																			
成果に係る評価		就業者の定年延長に伴う会員の高齢化に伴う役員の担い手不足や生活スタイルの多様化等により、会員数及びクラブ数は年々減少傾向にある。老人クラブは会員同士による健康づくりや仲間づくりのみならず、社会奉仕活動等の多様な活動に取り組んでおり、地域社会での活躍も期待される存在であることから、今後も自主的活動を支援するため、本事業を継続するとともに、老人クラブ活動を広く周知していく必要がある。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	3,861,933	3,154,850	1,178,656			1,976,194																															

予算科目	3 款	民生費	事業名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業																																																																								
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																							
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																							
	事業	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																																																							
担当部課	保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ	P51																																																																								
目的及び事業内容		在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備し、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。																																																																										
取組実績	1 緊急通報システム設置状況																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>年度未設置者数</td> <td>500人</td> <td>394人</td> <td>34人</td> <td>13人</td> <td>31人</td> <td>13人</td> <td>7人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>43人</td> <td>32人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>年度未設置者数</td> <td>488人</td> <td>383人</td> <td>31人</td> <td>18人</td> <td>26人</td> <td>14人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>56人</td> <td>40人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>年度未設置者数</td> <td>486人</td> <td>383人</td> <td>30人</td> <td>15人</td> <td>24人</td> <td>18人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>51人</td> <td>40人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>									年度	区分	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	R3	年度未設置者数	500人	394人	34人	13人	31人	13人	7人	8人	新規設置者数	43人	32人	6人	0人	3人	1人	1人	0人	R4	年度未設置者数	488人	383人	31人	18人	26人	14人	7人	9人	新規設置者数	56人	40人	3人	7人	1人	4人	0人	1人	R5	年度未設置者数	486人	383人	30人	15人	24人	18人	7人	9人	新規設置者数	51人	40人	1人	1人	1人	7人	0人	1人
	年度	区分	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																		
R3	年度未設置者数	500人	394人	34人	13人	31人	13人	7人	8人																																																																			
	新規設置者数	43人	32人	6人	0人	3人	1人	1人	0人																																																																			
R4	年度未設置者数	488人	383人	31人	18人	26人	14人	7人	9人																																																																			
	新規設置者数	56人	40人	3人	7人	1人	4人	0人	1人																																																																			
R5	年度未設置者数	486人	383人	30人	15人	24人	18人	7人	9人																																																																			
	新規設置者数	51人	40人	1人	1人	1人	7人	0人	1人																																																																			
2 対応実績																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">通報種類</th> <th colspan="3">対応内容</th> </tr> <tr> <th>非常ボタン</th> <th>センサー不動通知</th> <th>救急搬送(救急要請)</th> <th>転倒等による介助依頼</th> <th>押し間違い・無断外泊等異常なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>188件</td> <td>117件</td> <td>15件(20件)</td> <td>13件</td> <td>272件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>149件</td> <td>101件</td> <td>16件(18件)</td> <td>1件</td> <td>231件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>141件</td> <td>94件</td> <td>17件(19件)</td> <td>4件</td> <td>212件</td> </tr> </tbody> </table>									年度	通報種類		対応内容			非常ボタン	センサー不動通知	救急搬送(救急要請)	転倒等による介助依頼	押し間違い・無断外泊等異常なし	R3	188件	117件	15件(20件)	13件	272件	R4	149件	101件	16件(18件)	1件	231件	R5	141件	94件	17件(19件)	4件	212件																																							
年度	通報種類		対応内容																																																																									
	非常ボタン	センサー不動通知	救急搬送(救急要請)	転倒等による介助依頼	押し間違い・無断外泊等異常なし																																																																							
R3	188件	117件	15件(20件)	13件	272件																																																																							
R4	149件	101件	16件(18件)	1件	231件																																																																							
R5	141件	94件	17件(19件)	4件	212件																																																																							
成果		在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																																										
成果に係る評価		ひとり暮らしの高齢者数は増加しており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられる。今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者及び地域の支援者等への周知の仕方を検討し、新規設置者の増加を図っていく必要がある。システムは固定電話回線が必要であることから、携帯電話のみを利用している世帯は、システムを利用するために固定電話回線を新たに設置する必要がある。今後、他市の事例等を参考にし、より利便性のあるシステム導入について、研究していく。																																																																										
(単位：円)																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
	11,884,031	10,813,564					10,813,564																																																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	生きがいデイサービス事業																																																																						
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																					
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																					
	事業	デイサービス事業関係費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																																																																					
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P48																																																																						
目的及び事業内容	心身の機能は自立しているが閉じこもりがちな65歳以上の高齢者に対し、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練や趣味活動、各種教養講座、健康チェックなどの各種サービスを提供することにより、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。																																																																									
取組実績	各地区の公共施設や集会施設において、健康チェックや運動、健康相談などを実施するとともに、地区によっては送迎を行い、利用者の利便性を高め、参加しやすい環境を整えることにより、高齢者の閉じこもり防止、孤立の解消に努めた。																																																																									
	1 登録者及び会場数																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>44人</td> <td>6人</td> <td>48人</td> <td>116人</td> <td>122人</td> <td>68人</td> <td>19人</td> <td>423人</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>6か所</td> <td>1か所</td> <td>5か所</td> <td>4か所</td> <td>17か所</td> <td>8か所</td> <td>1か所</td> <td>42か所</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	登録者	44人	6人	48人	116人	122人	68人	19人	423人	会場数	6か所	1か所	5か所	4か所	17か所	8か所	1か所	42か所																																							
	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																	
登録者	44人	6人	48人	116人	122人	68人	19人	423人																																																																		
会場数	6か所	1か所	5か所	4か所	17か所	8か所	1か所	42か所																																																																		
2 利用状況																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>実施回数</td> <td>172回</td> <td>19回</td> <td>40回</td> <td>203回</td> <td>203回</td> <td>131回</td> <td>75回</td> <td>843回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,108人</td> <td>126人</td> <td>286人</td> <td>1,674人</td> <td>1,344人</td> <td>1,143人</td> <td>410人</td> <td>6,091人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>実施回数</td> <td>178回</td> <td>19回</td> <td>33回</td> <td>215回</td> <td>191回</td> <td>130回</td> <td>70回</td> <td>836回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>919人</td> <td>102人</td> <td>266人</td> <td>1,740人</td> <td>1,125人</td> <td>1,056人</td> <td>317人</td> <td>5,525人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>実施回数</td> <td>151回</td> <td>10回</td> <td>37回</td> <td>205回</td> <td>203回</td> <td>119回</td> <td>66回</td> <td>791回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>721人</td> <td>46人</td> <td>278人</td> <td>1,657人</td> <td>1,113人</td> <td>911人</td> <td>364人</td> <td>5,090人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人	R4	実施回数	178回	19回	33回	215回	191回	130回	70回	836回	延利用者数	919人	102人	266人	1,740人	1,125人	1,056人	317人	5,525人	R5	実施回数	151回	10回	37回	205回	203回	119回	66回	791回	延利用者数	721人	46人	278人	1,657人	1,113人	911人	364人	5,090人
年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																	
R3	実施回数	172回	19回	40回	203回	203回	131回	75回	843回																																																																	
	延利用者数	1,108人	126人	286人	1,674人	1,344人	1,143人	410人	6,091人																																																																	
R4	実施回数	178回	19回	33回	215回	191回	130回	70回	836回																																																																	
	延利用者数	919人	102人	266人	1,740人	1,125人	1,056人	317人	5,525人																																																																	
R5	実施回数	151回	10回	37回	205回	203回	119回	66回	791回																																																																	
	延利用者数	721人	46人	278人	1,657人	1,113人	911人	364人	5,090人																																																																	
成果	創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の増進が図られた。																																																																									
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したこともあり、年間を通して実施することができたが、地区統合等により、実施回数および延利用者数が減少した。 高齢者の閉じこもりを防止するとともに、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等が図られ、一定の事業効果が上がっている。																																																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	46,943,118	43,206,949			39,558,449	3,648,500																																																																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	在宅高齢者サービス事業																																								
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																							
	2 目	在宅老人福祉費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																							
	事業	在宅高齢者サービス事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																							
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P51																																								
目的及び事業内容	在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。																																											
取組実績	在宅の高齢者やその家族が必要とする福祉サービスを提供し、支援をするために、5つの事業を実施した。																																											
	1 外出支援サービス																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>171人</td> <td>24人</td> <td>6人</td> <td>82人</td> <td>14人</td> <td>12人</td> <td>2人</td> <td>311人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>507件</td> <td>49件</td> <td>1件</td> <td>177件</td> <td>30件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>769件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>2,899,710円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	171人	24人	6人	82人	14人	12人	2人	311人	利用件数	507件	49件	1件	177件	30件	2件	3件	769件	金額								2,899,710円
	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																			
助成券交付者数	171人	24人	6人	82人	14人	12人	2人	311人																																				
利用件数	507件	49件	1件	177件	30件	2件	3件	769件																																				
金額								2,899,710円																																				
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>20人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>29件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>177,120円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	20人	0人	0人	2人	1人	3人	0人	26人	利用件数	29件	0件	0件	2件	2件	3件	0件	36件	金額								177,120円	
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	20人	0人	0人	2人	1人	3人	0人	26人																																				
利用件数	29件	0件	0件	2件	2件	3件	0件	36件																																				
金額								177,120円																																				
3 訪問理美容サービス																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>25人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>37件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="7"></td> <td>61,500円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	25人	1人	0人	3人	0人	0人	0人	29人	利用件数	37件	0件	0件	4件	0件	0件	0件	41件	金額								61,500円	
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	25人	1人	0人	3人	0人	0人	0人	29人																																				
利用件数	37件	0件	0件	4件	0件	0件	0件	41件																																				
金額								61,500円																																				
4 老人日常生活用具付事業																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>16,500円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>16,500円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	16,500円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	16,500円										
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																				
金額	16,500円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	16,500円																																				
5 バリアフリー住宅普及促進事業																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>241,677円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>241,677円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	4件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件	金額	241,677円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	241,677円										
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	4件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件																																				
金額	241,677円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	241,677円																																				
6 消耗品費（助成券用紙代）10,000円																																												
成果	サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。																																											
成果に係る評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付者数実績</th> <th>利用件数実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>335人</td> <td>997件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>372人</td> <td>1,023件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>371人</td> <td>851件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	交付者数実績	利用件数実績	R3	335人	997件	R4	372人	1,023件	R5	371人	851件																								
	年度	交付者数実績	利用件数実績																																									
	R3	335人	997件																																									
	R4	372人	1,023件																																									
R5	371人	851件																																										
高齢化率の上昇により、今後も一定のニーズが見込まれるため、引き続き市報やチラシでの周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センター等と連携し、事業を継続する必要がある。																																												
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	4,434,000	3,406,507			3,406,507																																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	介護サービス基盤整備事業														
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち													
	3 目	老人福祉施設費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実													
	事業	地域医療介護総合確保事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する													
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49														
目的及び事業内容	介護保険事業計画に定める介護保険施設等の整備計画に基づき、市が選考した事業者に対し、施設整備費及び施設の内滑な開設に必要な備品等を整備するための経費を補助し、高齢者が住み慣れた地域で生活し続けることができるよう基盤整備を推進するもの。																	
取組実績	<p>第8期介護保険事業計画に基づき、介護施設等の整備事業を行う事業者に対し、施設整備費、施設開設準備に要する初年度経費（設備整備、職員訓練期間中の雇上げ（最大6か月間）、職員募集経費、開設のための普及啓発経費、その他事業の立ち上げに必要な経費）を補助することにより、開設時から安定した、質の高いサービスを提供するための体制整備の支援を行った。</p> <p>令和5年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象施設</th> <th>施設数</th> <th>補助額（千円）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護</td> <td>1</td> <td>53,052</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域密着型介護老人福祉施設</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>令和6年度へ事故繰越</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域密着型介護老人福祉施設については、年度内に建設を完了することができなかったため、事故繰越事業として令和6年度に補助する予定。</p>						補助対象施設	施設数	補助額（千円）	備考	認知症対応型共同生活介護	1	53,052		地域密着型介護老人福祉施設	1	0	令和6年度へ事故繰越
補助対象施設	施設数	補助額（千円）	備考															
認知症対応型共同生活介護	1	53,052																
地域密着型介護老人福祉施設	1	0	令和6年度へ事故繰越															
成果	認知症対応型共同生活介護1施設の整備への補助を行い、開設時から安定した、質の高いサービスを提供するための体制整備の支援を行うことができた。																	
成果に係る評価	要支援・要介護認定者や認知症高齢者の増加が見込まれていることから、自身が希望するサービスが必要な時に利用できるよう、今後も必要な基盤整備や事業者の参入促進を図り、施設入所者の待機者減少に努める必要がある。																	
予算の執行状況	（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	53,052,000	53,052,000	53,052,000															

予算科目	3 款	民生費	事業名	老人保護対策事業																																																																								
	2 項	老人福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																							
	4 目	老人保護費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																																							
	事業	老人保護対策費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																																																							
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 50																																																																								
目的及び事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進を図る。																																																																											
取組実績	<p>老人保護対策事業（老人ホーム入所措置）を実施した。</p> <p>1 生活相談受付 地域包括支援センター等の相談支援機関や対象者本人又は家族、親族、民生委員等の支援者から相談を受け、必要な助言をすとも適切な機関及び制度につなげている。 上記相談のうち、本人や家族が養護老人ホームへの入所を希望している場合又は状況を勘案し同ホームへの入所が必要と思われる場合は、入所措置制度について説明を行い、必要に応じて生活実態に関する調査を行っている。</p> <p>2 生活実態調査 養護老人ホームの入所を希望する者への生活状況等の実態調査を行った。</p> <p>3 老人ホーム入所判定委員会の開催（※1） 養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">入所判定人数</th> <th colspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>適</th> <th>否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2回</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（※1）3の入所判定（適）の人数と4の新規入所者数が異なるのは、入所時期が翌年度となる場合がある等の理由による。</p> <p>4 養護老人ホームへの措置（※2） 養護老人ホーム措置者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th rowspan="3">年度当初入所者数</th> <th colspan="2">増減</th> <th rowspan="3">合計</th> <th colspan="4">年度末入所者数</th> </tr> <tr> <th>新規入所者数</th> <th>退所者数</th> <th colspan="4">内訳</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>万生園 (石巻市)</th> <th>ひばり園 (美里町)</th> <th>松寿園 (名取市)</th> <th>松風荘 (名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>79人</td> <td>14人</td> <td>11人</td> <td>81人</td> <td>63人</td> <td>17人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>81人</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>80人</td> <td>64人</td> <td>15人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>80人</td> <td>14人</td> <td>14人</td> <td>80人</td> <td>61人</td> <td>16人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（※2）令和5年度は万生園から松寿園に措置入所施設を変更した者が1名いる。</p>						年度	開催回数	入所判定人数	結果		適	否	R3	2回	12人	12人	0人	R4	2回	12人	12人	0人	R5	2回	15人	15人	0人	年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数				新規入所者数	退所者数	内訳						万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)	松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)	R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人	R4	81人	8人	9人	80人	64人	15人	1人	0人	R5	80人	14人	14人	80人	61人	16人	3人	0人
年度	開催回数	入所判定人数	結果																																																																									
			適	否																																																																								
R3	2回	12人	12人	0人																																																																								
R4	2回	12人	12人	0人																																																																								
R5	2回	15人	15人	0人																																																																								
年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数																																																																							
		新規入所者数	退所者数		内訳																																																																							
					万生園 (石巻市)	ひばり園 (美里町)	松寿園 (名取市)	松風荘 (名取市)																																																																				
R3	79人	14人	11人	81人	63人	17人	1人	0人																																																																				
R4	81人	8人	9人	80人	64人	15人	1人	0人																																																																				
R5	80人	14人	14人	80人	61人	16人	3人	0人																																																																				
成果	老人ホーム入所に係る生活相談、生活実態調査、老人ホーム入所判定委員会を経て、環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																																																											
成果に係る評価	在宅での生活が困難である高齢者を対象に老人福祉法に基づく入所措置をすることにより、生きがいを持ち、健全で安らかな生活を営む環境を提供できることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
	253,966,000	248,667,594			32,142,663	216,524,931																																																																						

予算科目	3 款	民生費	事業名	民間保育所助成事業				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実			
	事業	民間保育所助成費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する			
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P45				
目的及び事業内容	市内に設置されている民間認可外保育施設の適正な運営と職員の研究活動の促進を図るため、3歳未満の保育を行い、利用児童が6人以上で1日の保育時間が8時間を超え、かつ保育を通常午後まで行っている等の要件を満たす施設に対して補助金を交付する。							
取組実績	■認可外保育施設の適正な運営を図るため、要件を満たす施設に補助金を交付した。							
	施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳				計
				施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費		
	保育所ちびっこランド石巻向陽園	3人	11人	給食の提供		0-2歳:11,000円		12/1で6か月以上勤務
				有	55,000円	3歳:8,000円	保育士:58,500円	
				無	22,000円	4-5歳:1,000円	その他:35,000円	
	託児室	4人	46人	55,000円	487,000円	187,000円		729,000円
	木のおへや	6人	270人	55,000円	2,355,000円	304,000円		2,714,000円
	ハビネス保育園	3人	102人	55,000円	1,122,000円	175,500円		1,352,500円
	託児所	4人	75人	22,000円	780,000円	187,000円		989,000円
P e t i t A n g e								
合計	5施設	20人	504人	209,000円	4,803,000円	853,500円		5,865,500円
※5年間の推移(入所児童数は、各年度4月1日現在)								
	項目	R1	R2	R3	R4	R5		
	対象施設数	5施設	4施設	5施設	5施設	5施設		
	対象施設定員数	96人	96人	119人	119人	119人		
	入所児童数	26人	31人	52人	48人	50人		
成果	交付要件を満たす認可外保育施設5施設に対し、補助金を交付することにより、適正な運営及び職員の資質向上を支援することができた。また、低年齢児の受入れを促すとともに、低年齢児保育の重要性の啓発と促進を図ることができた。							
成果に係る評価	保護者の就労の変化や保育の無償化により、今後も令和5年度と同程度の保育需要が見込まれる。待機児童解消に向けた保育の受け皿として、認可外保育所は一定の役割を果たしていることから、本事業を継続して実施し、施設の適正な運営と職員の資質向上を図る必要がある。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	7,497,000	5,865,500	2,142,000			3,723,500		

予算科目	3 款	民生費	事業名	民間保育所建設補助事業																					
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																				
	事業	民間保育所助成費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																				
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																					
目的及び事業内容	保育所整備事業を行う民間事業者に、予算の範囲内において補助金を交付し、保育所の待機児童を解消するとともに、安心して子どもを育てられる環境を整備することを目的とする。 石巻市民間保育所建設助成事業補助金交付要綱に基づく保育所等施設整備事業等に対し、それぞれの規定により算出した額の範囲内で交付する。																								
取組実績	「石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」に基づき、令和6年3月31日をもって井内保育所、稲井幼稚園を廃止し、代替施設として令和6年4月1日に民設民営のこども園が開園した。開園に当たっては設置運営事業者に対し市有地を無償貸付するとともに、保育施設建設に要する補助金を交付した。																								
	・市有地の無償貸付 所 在：石巻市開成1番47 貸付面積：4,064㎡ 貸付期間：令和5年1月16日から令和16年3月31日																								
成果	保育所整備事業を行う民間事業者(1施設)に、補助金を交付し、保育所の待機児童を解消するとともに、安心して子どもを育てられる環境を整備することの推進が図られた。																								
	<table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>いしのまきセントラルプリスクール</td> </tr> <tr> <td>開園</td> <td>令和6年4月1日</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>4,064㎡</td> </tr> <tr> <td>建物の構造</td> <td>木造合板メッキ鋼板ぶき平屋建て</td> </tr> <tr> <td>園舎面積</td> <td>977.60㎡</td> </tr> <tr> <td>園庭面積</td> <td>598.67㎡</td> </tr> <tr> <td>入所定員</td> <td>1号認定:10名 2号・3号認定:90名</td> </tr> <tr> <td>保育年齢</td> <td>0～5歳児</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保育の特色</td> <td>障害児保育:0～5歳</td> </tr> <tr> <td>延長保育:18時30分～22時 休日保育:日曜、休日 8時～16時(定員10人)</td> </tr> </table>							施設名称	いしのまきセントラルプリスクール	開園	令和6年4月1日	敷地面積	4,064㎡	建物の構造	木造合板メッキ鋼板ぶき平屋建て	園舎面積	977.60㎡	園庭面積	598.67㎡	入所定員	1号認定:10名 2号・3号認定:90名	保育年齢	0～5歳児	保育の特色	障害児保育:0～5歳
施設名称	いしのまきセントラルプリスクール																								
開園	令和6年4月1日																								
敷地面積	4,064㎡																								
建物の構造	木造合板メッキ鋼板ぶき平屋建て																								
園舎面積	977.60㎡																								
園庭面積	598.67㎡																								
入所定員	1号認定:10名 2号・3号認定:90名																								
保育年齢	0～5歳児																								
保育の特色	障害児保育:0～5歳																								
	延長保育:18時30分～22時 休日保育:日曜、休日 8時～16時(定員10人)																								
成果に係る評価	保育所の待機児童を解消するとともに、安心して子どもを育てられる環境を整備することを目的とし、私立認可保育施設(1施設)の創設に対し、経費の一部助成を実施した。今後も保育所等の民営化に係る保育施設の創設や待機児童解消に対する定員人数増加に係る施設の建て替えを行う事業者に対して補助し、子育て環境の充実を図る必要がある。																								
(単位:円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	276,852,000	265,156,000	214,770,000			50,386,000																			

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害児保育事業		
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	
	事業	民間保育所助成費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する	
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P47		
目的及び事業内容		<p>市内の私立認可保育所で、障害児を受け入れる事業者に対して、障害児保育の体制整備を図るため、その経費の一部を助成するもの。</p> <p>補助要件 障害児1人から3人に対して保育士1人を配置する。 補助額 加配した保育士の人件費相当額又は保育士1人に付き月額200,000円×配置月数分のいずれか少ない額を助成する。</p>				
取組実績		<p>障害児保育事業を実施している私立認可保育所(3施設)に対し、障害児保育の体制整備を図る経費の一部を助成することで、障害児保育の充実と受入れの促進を図った。</p> <p>取組実績(R5) 障害児保育実施施設数 3施設 (ケヤキッズあゆみの保育園、レインボーインターナショナルプリスクール、ブルーバードインターナショナルプリスクール) 障害児保育利用児童数 3人 障害児保育助成額 7,200,000円(@200,000円×12月×3人)</p>				
成果		<p>障害児保育事業を実施している私立認可保育所に対し、障害児保育の体制整備を図る経費の一部を助成し、障害児保育の充実と保育所利用の推進を図った。</p>				
成果に係る評価		<p>障害児等の特別な支援が必要な児童を受入れる保育所等に対しては、国が定める要件を満たす場合に、国が定める基準に基づき保育所等に支払われる給付費等に一定の加算がされているところであるが、当該加算のみでは加配保育士等の確保に十分ではなく、保育所等においては、障害児の対応や受入れが困難となっている現状がある。経費の一部を助成することで、障害児の受入れの促進を図り、障害児の健全な育成にもつながることから事業の継続が必要である。</p>				
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,200,000	7,200,000	360,000			6,840,000

予算科目	3 款	民生費	事業名	私立保育所等助成事業																																																																																																																																																					
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																																																				
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																																																																																				
	事業	私立認可保育所等運営費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																																																																																																				
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P45																																																																																																																																																					
目的及び事業内容		<p>私立認可保育所等に運営費を給付し、運営の安定化を図ることにより、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。 また、延長保育実施施設に対して補助金を交付することで、安定した運営を図りながら、保育時間延長を希望する保護者の就労支援を行う。</p>																																																																																																																																																							
取組実績		<p>1 私立認可保育所13施設、私立認定こども園3施設に対して、子ども・子育て支援法に基づき、子どものための教育・保育給付費(私立認可保育所には委託料、私立認定こども園には扶助費)の給付を行った。</p> <p>2 私立認可保育所13施設、私立認定こども園3施設が実施する延長保育事業に対して、石巻市時間延長保育事業費補助金交付要綱に基づき交付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>私立認可保育所運営業務委託料</td> <td>13施設</td> <td>1,259,845,550円</td> </tr> <tr> <td>私立認可保育所等給付費(扶助費)</td> <td>3施設</td> <td>381,376,050円</td> </tr> <tr> <td>時間延長保育事業費補助金</td> <td>16施設</td> <td>9,945,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>1,651,166,600円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	施設数	金額	私立認可保育所運営業務委託料	13施設	1,259,845,550円	私立認可保育所等給付費(扶助費)	3施設	381,376,050円	時間延長保育事業費補助金	16施設	9,945,000円	合計	-	1,651,166,600円																																																																																																																																					
区分	施設数	金額																																																																																																																																																							
私立認可保育所運営業務委託料	13施設	1,259,845,550円																																																																																																																																																							
私立認可保育所等給付費(扶助費)	3施設	381,376,050円																																																																																																																																																							
時間延長保育事業費補助金	16施設	9,945,000円																																																																																																																																																							
合計	-	1,651,166,600円																																																																																																																																																							
成果		<p>各保育施設への給付により、特色を生かした保育を行うことで、保育の質の向上が図られた。また、延長保育事業を実施することで、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられたため、就労支援と児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保育施設名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="4">入所児童数(4月1日現在)</th> <th rowspan="2">延長保育補助</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 なかよし保育園</td><td>60人</td><td>61人</td><td>60人</td><td>63人</td><td>65人</td><td>○</td><td>一時預かり</td></tr> <tr><td>2 インターナショナルリスクール/ノッポ</td><td>70人</td><td>71人</td><td>65人</td><td>63人</td><td>61人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3 ブルーバードインターナショナルリスクール</td><td>110人</td><td>97人</td><td>98人</td><td>99人</td><td>99人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4 石巻ひがし保育園</td><td>60人</td><td>58人</td><td>54人</td><td>53人</td><td>49人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5 石巻たから保育園</td><td>60人</td><td>58人</td><td>65人</td><td>55人</td><td>55人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6 ケヤキッズあゆみの保育園</td><td>99人</td><td>92人</td><td>91人</td><td>91人</td><td>91人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>7 乳幼児保育園ミルク</td><td>85人</td><td>84人</td><td>86人</td><td>79人</td><td>75人</td><td>○</td><td>病後児等保育</td></tr> <tr><td>8 レインボーインターナショナルリスクール</td><td>75人</td><td>69人</td><td>75人</td><td>75人</td><td>89人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9 ケヤキッズさくらまち保育園</td><td>90人</td><td>87人</td><td>75人</td><td>74人</td><td>75人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>10 ケヤキッズのぞみの保育園</td><td>90人</td><td>92人</td><td>90人</td><td>90人</td><td>76人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>11 リトルマメイドインターナショナルリスクール</td><td>60人</td><td>34人</td><td>43人</td><td>47人</td><td>49人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>12 広瀬保育所</td><td>60人</td><td>60人</td><td>54人</td><td>60人</td><td>59人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>13 メロン保育園</td><td>140人</td><td>155人</td><td>154人</td><td>149人</td><td>148人</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>14 さくらこども園</td><td>90人</td><td>75人</td><td>82人</td><td>87人</td><td>84人</td><td>○</td><td>R3よりこども園</td></tr> <tr><td>15 アリスこども園</td><td>85人</td><td>73人</td><td>67人</td><td>67人</td><td>78人</td><td>○</td><td>R3よりこども園</td></tr> <tr><td>16 石巻ひまわりこども園</td><td>90人</td><td>91人</td><td>89人</td><td>89人</td><td>98人</td><td>○</td><td>R4よりこども園</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>16施設</td> <td>1,324人</td> <td>1,257人</td> <td>1,248人</td> <td>1,241人</td> <td>1,251人</td> <td>16施設</td> </tr> </tbody> </table>				保育施設名	認可定員	入所児童数(4月1日現在)				延長保育補助	備考	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	1 なかよし保育園	60人	61人	60人	63人	65人	○	一時預かり	2 インターナショナルリスクール/ノッポ	70人	71人	65人	63人	61人	○		3 ブルーバードインターナショナルリスクール	110人	97人	98人	99人	99人	○		4 石巻ひがし保育園	60人	58人	54人	53人	49人	○		5 石巻たから保育園	60人	58人	65人	55人	55人	○		6 ケヤキッズあゆみの保育園	99人	92人	91人	91人	91人	○		7 乳幼児保育園ミルク	85人	84人	86人	79人	75人	○	病後児等保育	8 レインボーインターナショナルリスクール	75人	69人	75人	75人	89人	○		9 ケヤキッズさくらまち保育園	90人	87人	75人	74人	75人	○		10 ケヤキッズのぞみの保育園	90人	92人	90人	90人	76人	○		11 リトルマメイドインターナショナルリスクール	60人	34人	43人	47人	49人	○		12 広瀬保育所	60人	60人	54人	60人	59人	○		13 メロン保育園	140人	155人	154人	149人	148人	○		14 さくらこども園	90人	75人	82人	87人	84人	○	R3よりこども園	15 アリスこども園	85人	73人	67人	67人	78人	○	R3よりこども園	16 石巻ひまわりこども園	90人	91人	89人	89人	98人	○	R4よりこども園	合計	16施設	1,324人	1,257人	1,248人	1,241人	1,251人	16施設
保育施設名	認可定員	入所児童数(4月1日現在)						延長保育補助	備考																																																																																																																																																
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																																																																																																																																																				
1 なかよし保育園	60人	61人	60人	63人	65人	○	一時預かり																																																																																																																																																		
2 インターナショナルリスクール/ノッポ	70人	71人	65人	63人	61人	○																																																																																																																																																			
3 ブルーバードインターナショナルリスクール	110人	97人	98人	99人	99人	○																																																																																																																																																			
4 石巻ひがし保育園	60人	58人	54人	53人	49人	○																																																																																																																																																			
5 石巻たから保育園	60人	58人	65人	55人	55人	○																																																																																																																																																			
6 ケヤキッズあゆみの保育園	99人	92人	91人	91人	91人	○																																																																																																																																																			
7 乳幼児保育園ミルク	85人	84人	86人	79人	75人	○	病後児等保育																																																																																																																																																		
8 レインボーインターナショナルリスクール	75人	69人	75人	75人	89人	○																																																																																																																																																			
9 ケヤキッズさくらまち保育園	90人	87人	75人	74人	75人	○																																																																																																																																																			
10 ケヤキッズのぞみの保育園	90人	92人	90人	90人	76人	○																																																																																																																																																			
11 リトルマメイドインターナショナルリスクール	60人	34人	43人	47人	49人	○																																																																																																																																																			
12 広瀬保育所	60人	60人	54人	60人	59人	○																																																																																																																																																			
13 メロン保育園	140人	155人	154人	149人	148人	○																																																																																																																																																			
14 さくらこども園	90人	75人	82人	87人	84人	○	R3よりこども園																																																																																																																																																		
15 アリスこども園	85人	73人	67人	67人	78人	○	R3よりこども園																																																																																																																																																		
16 石巻ひまわりこども園	90人	91人	89人	89人	98人	○	R4よりこども園																																																																																																																																																		
合計	16施設	1,324人	1,257人	1,248人	1,241人	1,251人	16施設																																																																																																																																																		
成果に係る評価		<p>少子化の傾向は依然続いているものの、保護者の就労の変化や幼児教育・保育の無償化、公立保育施設の再編計画により、今後、民間事業者が運営する保育施設への入所希望数は高い水準で推移すると見込まれるため、私立認可保育施設が担う役割は重要であることから、今後も引き続き事業を継続する。</p>																																																																																																																																																							
(単位:円)																																																																																																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																			
	1,652,724,000	1,651,166,600	1,145,820,589			118,705,020	386,640,991																																																																																																																																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	助産施設入所助成事業																						
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																					
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																					
	事業	母子支援事業費		(1)	妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う																					
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P42																						
目的及び事業内容		母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。																								
取組実績	1 助産施設 県内8施設が対象		<table border="1"> <tr> <td>石巻赤十字病院</td> <td>東北大学病院</td> <td>仙台市立病院</td> </tr> <tr> <td>仙台赤十字病院</td> <td>仙台医療センター</td> <td>大崎市民病院</td> </tr> <tr> <td>気仙沼市立病院</td> <td>スズキ記念病院</td> <td></td> </tr> </table>			石巻赤十字病院	東北大学病院	仙台市立病院	仙台赤十字病院	仙台医療センター	大崎市民病院	気仙沼市立病院	スズキ記念病院													
	石巻赤十字病院	東北大学病院	仙台市立病院																							
仙台赤十字病院	仙台医療センター	大崎市民病院																								
気仙沼市立病院	スズキ記念病院																									
2 利用対象者		<table border="1"> <tr> <td>保健上必要</td> <td>異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等</td> </tr> <tr> <td>経済的理由</td> <td>一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等</td> </tr> </table>			保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等	経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																		
保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩が予想される場合でも住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等																									
経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																									
成果	経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は就労困難や家族等の支援を受けることができないため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。																									
	<p>〈利用実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">利用施設名</th> <th rowspan="2">利用者数</th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>普通分娩</th> <th>帝王切開</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>5人</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>5人</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用施設名	利用者数	区 分		普通分娩	帝王切開	R3	石巻赤十字病院	4人	3	1	R4	石巻赤十字病院	5人	4	1	R5	石巻赤十字病院	5人	2
年度	利用施設名	利用者数	区 分																							
			普通分娩	帝王切開																						
R3	石巻赤十字病院	4人	3	1																						
R4	石巻赤十字病院	5人	4	1																						
R5	石巻赤十字病院	5人	2	3																						
成果に係る評価	近年利用者数は横ばい状態にあるが、この制度を利用することで、大きな負担となっている金銭面の悩みが軽減し、安全な分娩に繋げることができた。今後も病院及び関係機関と連携を図りながら、より良い養育環境づくりに努めていく。児童福祉法に基づく安全な出産を確保するための施策であり、今後も継続して実施していく必要がある。																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,756,556	3,756,556	2,735,712			1,020,844																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）																
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち															
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実															
	事業	母子支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する															
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P44																
目的及び事業内容		要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。																		
取組実績	育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパーを派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。																			
	<p>1 対象者</p> <p>(1) 生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭</p> <p>(2) 出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭</p> <p>(3) 若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠期から継続的な支援を必要とする家庭</p> <p>2 支援内容</p> <p>(1) ホームヘルパーによる家事支援</p> <p>(2) ホームヘルパーによる育児・養育支援等</p> <p>3 派遣可否の決定</p> <p>「養育支援個別ケース検討会議」を開催し決定</p> <p>4 支援基準</p> <p>1回2時間以内、1日2回まで</p> <p>5 委託先</p> <p>社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</p>																			
成果	ホームヘルパー等による育児・家事の援助及び子どもの養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担や育児不安の軽減が図られ、養育環境の改善と子どもの安全が守られた。																			
	<p>【ホームヘルパー派遣利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用世帯数</th> <th>利用延回数</th> <th>派遣時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>3世帯</td> <td>674回</td> <td>503時間</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>7世帯</td> <td>882回</td> <td>803時間</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>8世帯</td> <td>531回</td> <td>739時間</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数	R3	3世帯	674回	503時間	R4	7世帯	882回	803時間	R5	8世帯	531回
年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数																	
R3	3世帯	674回	503時間																	
R4	7世帯	882回	803時間																	
R5	8世帯	531回	739時間																	
成果に係る評価	令和5年度は令和4年度に比べ利用延回数、派遣時間数ともに減少となったが、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な理由で養育支援を必要としている家庭に対し、居室内の整理整頓や食事の準備等、具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施し、それぞれの家庭が抱える養育上の諸問題の軽減が図られた。今後も関係機関・団体との緊密な連携により、母親の育児ストレスを軽減し、安定した子どもの養育環境を確保することが、虐待リスクの軽減にも繋がることから、引き続き支援を行っていくことが重要である。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	1,800,000	1,662,750	1,108,000			554,750														

予算科目	3 款	民生費	事業名	子育て短期支援事業		
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実	
	事業	母子支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する	
担当部課	保健福祉部総合相談センター	実施計画掲載ページ		P44		
目的及び事業内容						
保護者の疾病、その他の理由によって、家庭における養育が一時的に困難になった児童について、一定期間、登録里親家庭において養育する子育て短期支援事業を実施することにより、これらの児童の健全育成及び地域福祉の向上を図る。						
取組実績						
1 利用対象者：市内に住民登録がある、6か月から18歳の児童を養育している保護者等						
2 預かり施設：市内、近隣市町村の登録里親宅						
3 支援内容						
	区分	利用時間・利用期間		利用料（保護者負担）		
	ショートステイ	1回の申請につき1泊2日～7日間まで利用可能。同一月内の利用は最大10日間。		2歳未満児 5,350円/1日 2歳以上児 2,750円/1日 生活保護世帯、ひとり親家庭等は利用料減免		
	トワイライトステイ	月曜日～金曜日（祝日、年末年始除く）午後5時～午後10時		750円/1日		
成果						
養育者の体調不良等による利用では、負担軽減や体調回復につながる一助となった。						
【利用実績】						
	年度	内訳	ショートステイ事業	トワイライトステイ事業		
	R4		-	1件		
	R5		1件（3日間）	3件		
成果に係る評価						
令和4年10月に開始した新規事業につき、初年度の実績は養育者の体調不良によるトワイライトステイ利用1件のみだった。令和5年度の実績はトワイライトステイ利用3件やショートステイ利用1件（3日間）があった。養育者の体調不良のほか、時間確保のためによる利用があり、養育者の体調回復と負担軽減につながる一助となっているため、事業を継続する必要がある。						
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国（県）支出金	地方債
	480,000		51,672		8,000	43,672

予算科目	3 款	民生費	事業名	地域子ども・子育て情報発信事業		
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実	
	事業	子ども・子育て支援事業計画推進費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する	
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43		
目的及び事業内容						
子育て応援アプリISHIMOを運用し、子育て世代に必要な各種健診、子育て相談、イベント等の情報をスマートフォンやタブレット端末等へリアルタイムに配信し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を図る。						
取組実績						
1 登録者への情報配信 <主な機能> ① 子育て情報配信等（市からのプッシュ通知による情報発信） ② 妊娠期の記録管理 ③ 子どもの健康データ管理 ④ 予防接種の乳幼児健診の記録及びスケジュール管理（②、③、④は利用者がアプリに記録を入力するもの。）						
2 子育て情報配信についてのアンケート実施 市では、市報、ホームページ、子育て応援アプリISHIMO、SNSなどさまざまなメディアを活用して子育てに関する情報を発信しており、利用者の情報取得の傾向等を調査し、効果的な情報発信の在り方を検討するために、アンケートを実施した。 回答者数：333人						
成果						
登録者数は年々増加しており、子育て世帯のリアルタイムな情報取得が図られた。また、ISHIMOを本市が行う各種アンケート調査の周知、配信等にも活用することで、より広く、対象者から本市の子育て施策に関する意見を聴取することにつながっている。						
	年度	年度末登録者数	年度増減			
	R3	891人	345人			
	R4	1,159人	268人			
	R5	1,442人	283人			
成果に係る評価						
子育て世代が情報収集手段として最も利用しているスマートフォンやタブレット端末等に、リアルタイムで乳幼児健診や予防接種、子育て関係イベントなどの情報を効果的に提供することで、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援につなげることができた。今後は、アプリの周知や情報提供を継続しながら、利用者の更なる利便性の向上のため、子育て情報配信についてのアンケート結果を踏まえ、効果的な情報発信のあり方について研究していく必要がある。						
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国（県）支出金	地方債
	660,000		660,000		330,000	330,000

予算科目	3 款	民生費	事業名	病後児等保育事業																							
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																						
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																						
	事業	病児保育事業関係費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																						
担当部課	保健福祉子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																							
目的及び事業内容		<p>児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期にある児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童へ緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p>																									
取組実績		<p>1 病後児保育対応型 児童が病気の「回復期」にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、保育所等の専用スペースで一時的に保育を実施。市内に住所を有する児童で概ね生後6か月から就学前の児童を対象に、1日当たりの定員は3名として実施。看護師、保育士を1名ずつ配置。 また、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施した。 ※業務委託先：特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</p> <p>2 体調不良児対応型 業務委託先保育所に在籍中の児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保護者が迎えに行けない場合、保健的な対応等を取りながら保育を継続する事業。看護師を1名配置し、1日当たりの対応可能な児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的に実施した。 ※業務委託先：特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク</p>																									
成果		<p>病後児対応型の年間利用者数は令和5年度には前年と比較して1.5倍に増加した。新型コロナウイルス感染症の5類への移行をきっかけに、子育て支援センターでの講話や市内の保育施設への広報チラシの配布など、情報提供を広く行った効果により、本事業の定着化が図られた。 また、体調不良児対応型の利用者数、相談支援等実施人数ともに若干減少したが、事業実施施設における体調不良児が少ないという状況でもあり、健康的に過ごせていたものと推察する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標（延利用者数）</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">備考（実績値内訳）</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>400人</td> <td>428人</td> <td>107.00%</td> <td>病後児保育対応型：119人 体調不良児対応型：309人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>400人</td> <td>434人</td> <td>108.50%</td> <td>病後児保育対応型：147人 体調不良児対応型：287人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>440人</td> <td>504人</td> <td>114.55%</td> <td>病後児保育対応型：224人 体調不良児対応型：280人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	成果指標（延利用者数）		達成率	備考（実績値内訳）	目標値	実績値	R3	400人	428人	107.00%	病後児保育対応型：119人 体調不良児対応型：309人	R4	400人	434人	108.50%	病後児保育対応型：147人 体調不良児対応型：287人	R5	440人	504人	114.55%	病後児保育対応型：224人 体調不良児対応型：280人
年度	成果指標（延利用者数）		達成率	備考（実績値内訳）																							
	目標値	実績値																									
R3	400人	428人	107.00%	病後児保育対応型：119人 体調不良児対応型：309人																							
R4	400人	434人	108.50%	病後児保育対応型：147人 体調不良児対応型：287人																							
R5	440人	504人	114.55%	病後児保育対応型：224人 体調不良児対応型：280人																							
成果に係る評価		<p>病後児保育対応型については延べ利用人数の増加が見られ、事業の定着と必要性が伺えることから、今後も継続的に事業を実施する。 また、体調不良児対応型についても、令和4年度から若干の減少は見られるものの、同施設に看護師や専用のスペースを設けることで、保育中に体調不良となった場合においても保護者の子育ての不安の軽減につながっていることから、引き続き事業を実施していく必要がある。</p>																									
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																					
	9,656,000	9,565,000	6,376,000			3,189,000																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	地域子ども・子育て支援拠点事業																									
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																								
	事業	子育て支援センター管理費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																								
担当部課	保健福祉子ども子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																									
目的及び事業内容		<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図る。</p>																											
取組実績		<p>基本事業 (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供 (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施 (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供 (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施</p> <p>子育て支援センター開設か所（12か所）</p> <table border="1"> <tr> <td>湊子育て支援センター</td> <td>湊こども園内</td> <td>北上子育て支援センター</td> <td>相川保育所内</td> </tr> <tr> <td>渡波子育て支援センター</td> <td>渡波保育所内</td> <td>牡鹿子育て支援センター</td> <td>牡鹿保健福祉センター内</td> </tr> <tr> <td>河北子育て支援センター</td> <td>飯野川保育所内</td> <td>釜子育て支援センター</td> <td>釜保育所内</td> </tr> <tr> <td>雄勝子育て支援センター</td> <td>雄勝保育所内</td> <td>なかよし保育園地域子育て支援センター</td> <td>なかよし保育園内</td> </tr> <tr> <td>河南子育て支援センター</td> <td>河南農村環境改善センター内</td> <td>NPO法人ペビースマイル石巻</td> <td>石巻市蛇田字土和田</td> </tr> <tr> <td>桃生子育て支援センター</td> <td>桃生バイオ研修センター内</td> <td>NPO法人にじいろクレヨン</td> <td>石巻市大街道西二丁目</td> </tr> </table>				湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ペビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田	桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目
湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																										
渡波子育て支援センター	渡波保育所内	牡鹿子育て支援センター	牡鹿保健福祉センター内																										
河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																										
雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																										
河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ペビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																										
桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																										
成果		<p>親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場が定着し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られている。また、支援センターの指導員は、利用親子の身近な理解者として、育児不安解消の一助となっている。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問（相談件数）</td> <td>1,573件</td> <td>1,924件</td> <td>1,711件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援（支援件数）</td> <td>379件</td> <td>410件</td> <td>425件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場（参加親子組数）</td> <td>8,060組</td> <td>8,166組</td> <td>9,451組</td> </tr> </tbody> </table>					項目	R3	R4	R5	1	電話・来所・訪問（相談件数）	1,573件	1,924件	1,711件	2	子育てサークル支援（支援件数）	379件	410件	425件	3	親子教室・遊びの広場（参加親子組数）	8,060組	8,166組	9,451組				
	項目	R3	R4	R5																									
1	電話・来所・訪問（相談件数）	1,573件	1,924件	1,711件																									
2	子育てサークル支援（支援件数）	379件	410件	425件																									
3	親子教室・遊びの広場（参加親子組数）	8,060組	8,166組	9,451組																									
成果に係る評価		<p>子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所としての機能や、子育てサークル支援による地域との交流活動を通じた地域における子育て親子の交流等を促進するという機能を充実し、本事業の推進を図っていく。また、利用者拡大に向けニーズ調査を実施し、一部施設で休日開所を実施することとなった。今後、開所に伴う効果を検証し、改めて検討する。</p>																											
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																							
	83,631,233	81,607,422	54,352,000			27,255,422																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	保育士確保支援事業																																																																		
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																	
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																	
	事業	保育士確保支援事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																	
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P 46																																																																		
目的及び事業内容		本市の保育士不足を解消するため、市内私立認可保育施設に常勤保育士等として新たに勤務する者に対し、就労支援金及び資格取得支援金を助成し、保育士資格取得の促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、安定した保育施設の運営を図るもの。																																																																				
取組実績		令和5年度は、32名（新規：14名、継続：18名）に対し、就労支援金として3,600,000円を交付した。																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">区 分</th> <th colspan="2">補助金額</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">就労支援金</th> <th>就労開始時</th> <th>転入有</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>転入無</td> <td>200,000円</td> <td>3人</td> <td>600,000円</td> <td>4人</td> <td>800,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100,000円</td> <td>16人</td> <td>1,600,000円</td> <td>10人</td> <td>1,000,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>勤続1年後</td> <td></td> <td>100,000円</td> <td>9人</td> <td>900,000円</td> <td>18人</td> <td>1,800,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>0円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>最大400,000円</td> <td>28人</td> <td>3,100,000円</td> <td>32人</td> <td>3,600,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区 分			補助金額		R4		R5		就労支援金	就労開始時	転入有	人数	交付額	人数	交付額	人数	交付額			転入無	200,000円	3人	600,000円	4人	800,000円					100,000円	16人	1,600,000円	10人	1,000,000円			勤続1年後		100,000円	9人	900,000円	18人	1,800,000円			資格取得支援金	最大100,000円	0円	0人	0円	0人	0円			計	最大400,000円	28人	3,100,000円	32人	3,600,000円		
区 分			補助金額		R4		R5																																																															
就労支援金	就労開始時	転入有	人数	交付額	人数	交付額	人数	交付額																																																														
			転入無	200,000円	3人	600,000円	4人	800,000円																																																														
			100,000円	16人	1,600,000円	10人	1,000,000円																																																															
	勤続1年後		100,000円	9人	900,000円	18人	1,800,000円																																																															
	資格取得支援金	最大100,000円	0円	0人	0円	0人	0円																																																															
	計	最大400,000円	28人	3,100,000円	32人	3,600,000円																																																																
成 果		令和5年度新たに私立認可保育所、小規模保育所に採用された14名の保育士及び前年度採用され継続して就労している18名の保育士に対し、就労支援金を助成し、保育士の就職支援、離職防止及び保育所運営の安定を図ることができた。																																																																				
成果に係る評価		保育士資格の新規取得者及び就労に寄与するため、本市が独自に実施している補助事業により、保育士の人材確保が図られた。 令和6年度からは新規事業として事業者を対象とした保育士の宿舍借り上げ支援事業補助金を交付することで、より効果的に保育士の人材確保を目指す。																																																																				
予算の執行状況		(単位：円)																																																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	4,400,000	3,600,000				3,600,000																																																																

予算科目	3 款	民生費	事業名	ファミリーサポート事業																																							
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																						
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																						
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P 42																																							
目的及び事業内容		ファミリーサポートセンター事務局による調整や支援を行いながら、子育てを援助してほしい人（利用会員）と子育てを援助できる人（協会員）が相互の信頼関係のもと、子どもを預けたり、預かったりする地域ぐるみでの子育て支援活動を実施することにより、安心して子育てできる環境づくりを推進する。																																									
取組実績		1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻 2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時～午後4時 3名のアドバイザー配置 3 会員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 協会員</td> <td>94人</td> <td>100人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>(2) 利用会員</td> <td>446人</td> <td>480人</td> <td>510人</td> </tr> <tr> <td>(3) 両方会員</td> <td>73人</td> <td>68人</td> <td>66人</td> </tr> </tbody> </table> 4 利用件数 1,544件 5 協会の研修の実施 ・新規協会の初回研修 3回 ・既協会のステップアップ研修 2回 6 事業PRの推進 ・会報の発行 3回							R3	R4	R5	(1) 協会員	94人	100人	109人	(2) 利用会員	446人	480人	510人	(3) 両方会員	73人	68人	66人																				
	R3	R4	R5																																								
(1) 協会員	94人	100人	109人																																								
(2) 利用会員	446人	480人	510人																																								
(3) 両方会員	73人	68人	66人																																								
成 果		委託事業者による広報活動の充実や利用しやすい体制の強化により、会員登録数が増加した。また、放課後児童クラブへの送迎が不要になる児童があり、「放課後児童クラブの迎え」の利用件数が減少した。																																									
		利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕事（仕事復帰準備含む）</td> <td>472件</td> <td>687件</td> <td>543件</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>1件</td> <td>50件</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>61件</td> <td>64件</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>小学校への送迎</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>196件</td> <td>80件</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>440件</td> <td>448件</td> <td>155件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>418件</td> <td>545件</td> <td>577件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,591件</td> <td>1,879件</td> <td>1,544件</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	R3	R4	R5	仕事（仕事復帰準備含む）	472件	687件	543件	保育所・幼稚園の送り	1件	50件	76件	保育所・幼稚園の迎え	61件	64件	48件	小学校への送迎	3件	5件	32件	保護者の外出の際の援助	196件	80件	113件	放課後児童クラブの迎え	440件	448件	155件	その他	418件	545件	577件	合 計	1,591件	1,879件	1,544件
項 目	R3	R4	R5																																								
仕事（仕事復帰準備含む）	472件	687件	543件																																								
保育所・幼稚園の送り	1件	50件	76件																																								
保育所・幼稚園の迎え	61件	64件	48件																																								
小学校への送迎	3件	5件	32件																																								
保護者の外出の際の援助	196件	80件	113件																																								
放課後児童クラブの迎え	440件	448件	155件																																								
その他	418件	545件	577件																																								
合 計	1,591件	1,879件	1,544件																																								
成果に係る評価		仕事と家庭の両立や保護者の急用等による預かりなどのニーズは高く、委託事業者は実績を積み重ね、利用者からの信頼も得ており、安定した利用件数とサービスの確保が図られている。引き続き、会員の拡充を図るとともに、会員への講習会等を実施し、安全・安心なサービス提供に努める。																																									
予算の執行状況		(単位：円)																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	5,596,000	5,556,400	3,704,000			1,852,400																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	子育て世代包括支援センター事業（地域子ども・子育て利用者支援）																													
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																												
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																												
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																												
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																													
目的及び事業内容		<p>妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を確保するため、子育て世代包括支援センターを拠点として子育て支援に関する情報提供や相談、助言等を行い、必要に応じた保育、保健、教育等関係機関への連携調整等を行う。</p>																															
取組実績		<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ、平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、各総合支所市民福祉課も一体化した体制としている。</p> <p>利用者にとって、より身近で相談しやすい体制とするため、子育て支援課の他に、民間子育て支援団体に業務委託し、基本型の機能を有した子育て相談窓口（いっしょいっしょへびた、いっしょいっしょえきまえ）を設置している。</p> <p>※民間子育て支援団体：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻、特定非営利活動法人やっぺす</p> <p>基本型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談及び情報提供を行う。</p> <p>助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に、子育てに関する専門的な相談及び講話を行う。さらに、市ホームページに「教えて助産師さん」のコーナーを設け、妊娠・子育てに関する助産師のアドバイス等を掲載し、情報発信している。</p> <p>特定型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。</p> <p>母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																															
成果		<p>各委託事業所において、出張型の子育て相談の実施や産前産後マイプラン作成事業の展開などにより、出産や子育てに関する相談や支援体制の充実が図られ、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援につながった。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>241件</td> <td>2,023件</td> <td>784件</td> <td>733件</td> <td>3,781件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>378件</td> <td>2,467件</td> <td>777件</td> <td>630件</td> <td>4,252件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>396件</td> <td>2,795件</td> <td>664件</td> <td>588件</td> <td>4,443件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	R3	241件	2,023件	784件	733件	3,781件	R4	378件	2,467件	777件	630件	4,252件	R5	396件	2,795件	664件	588件	4,443件
年度	基本型		特定型	母子保健型	計																												
	直営	委託																															
R3	241件	2,023件	784件	733件	3,781件																												
R4	378件	2,467件	777件	630件	4,252件																												
R5	396件	2,795件	664件	588件	4,443件																												
成果に係る評価		<p>地域の子育て支援相談窓口として認知されてきており、相談件数が増加傾向にある。</p> <p>複合的な問題や複雑化しているケース相談が増えており、継続しての相談も多くなっているため、関係機関と連携しながら利用者の不安や困りに寄り添った伴走型の支援を行えるように、委託事業者に対し各種相談に関する必要の情報提供や助言を行うとともに、専門家からアドバイスをいただく機会を設けた。</p> <p>今後も、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援ができるよう、関係機関との連携の強化や支援体制の充実を図りたい。</p>																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	21,683,105	20,733,671	17,277,000			3,456,671																											

予算科目	3 款	民生費	事業名	助産師による産前産後「心とからだトータルケア」推進事業																																				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																			
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																			
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																																				
目的及び事業内容		<p>妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできるように支援する。</p>																																						
取組実績		<p>妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごせるよう支援を行った。ささえあいセンターを会場としてNPO法人やっぺすに事業を委託して実施している。</p> <p>1 心とからだトータルケア推進事業 会場：いっしょいっしょえきまえ（ささえあいセンター内） 内容：妊婦向け講座、出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ</p> <p>2 妊産婦相談（対面相談・オンライン相談） 会場：いっしょいっしょえきまえ（ささえあいセンター内） 内容：母乳育児等の個別相談</p>																																						
成果		<p>参加者アンケートから、講座の受講や相談を通じて安心して出産や育児に向き合うことができるようになったという感想が多く聞かれ、出産等の不安解消の一助となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 妊娠・出産・子育てに関する講座</td> <td>13回</td> <td>63人</td> <td>31回</td> <td>160人</td> <td>36回</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>2 妊産婦相談</td> <td>62回</td> <td>62人</td> <td>45回</td> <td>122人</td> <td>51回</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75回</td> <td>125人</td> <td>76回</td> <td>282人</td> <td>87回</td> <td>421人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	R3		R4		R5		実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	1 妊娠・出産・子育てに関する講座	13回	63人	31回	160人	36回	273人	2 妊産婦相談	62回	62人	45回	122人	51回	148人	合計	75回	125人	76回	282人	87回	421人
事業名	R3		R4		R5																																			
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数																																		
1 妊娠・出産・子育てに関する講座	13回	63人	31回	160人	36回	273人																																		
2 妊産婦相談	62回	62人	45回	122人	51回	148人																																		
合計	75回	125人	76回	282人	87回	421人																																		
成果に係る評価		<p>市内産院等の連携・協力を図りながら周知を強化したことにより参加者の増加につながった。</p> <p>妊産婦個別相談や体験型の講座を取り入れ、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を実施した。</p> <p>市内では、産院においても産院独自での妊娠・出産についての講座等が行われているものの、妊娠、出産、子育てに関する知識を得るための体制が十分でないことから、安心して産前産後を過ごせる環境づくりを推進していく。</p>																																						
（単位：円）																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	1,348,000	1,348,000	673,000			675,000																																		

予算科目	3 款	民生費	事業名	こんにちは赤ちゃん事業（妊娠・出産祝い品贈呈事業）																				
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																			
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																			
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																			
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																				
目的及び事業内容	次代を担う子どもの妊娠・出産を祝い、健やかな成長を願うとともに、少子化対策及び子育てにやさしいまちづくりを推進するため、祝い品を贈呈する。																							
取組実績	<p>1 祝い品</p> <p>(1) 妊娠祝い品：マタニティマークキーホルダー</p> <p>(2) 出産祝い品：今治タオルを使用したベビー用品セット（市長のお祝いメッセージカード付き）</p> <p>2 対象者</p> <p>(1) 妊娠祝い品：本市に住所を有する母子健康手帳交付者。</p> <p>(2) 出産祝い品：本市に住所を有する生後4か月を迎えるまでの乳児がいる家庭。</p> <p>3 贈呈方法</p> <p>(1) 妊娠祝い品：健康推進課又は各総合支所市民福祉課で母子健康手帳交付時に贈呈する。</p> <p>(2) 出産祝い品：健康推進課又は各総合支所の乳児家庭全戸訪問時に贈呈する。</p>																							
成果	<p>祝い品を贈呈することで、妊産婦との良好な信頼関係を築く一助となった。</p> <p>贈呈数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>妊娠祝い品</th> <th>出産祝い品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>667個</td> <td>713個</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>596個</td> <td>641個</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>557個</td> <td>572個</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】出生数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>714人</td> <td>682人</td> <td>601人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	妊娠祝い品	出産祝い品	R3	667個	713個	R4	596個	641個	R5	557個	572個	R3年	R4年	R5年	714人	682人	601人
年度	妊娠祝い品	出産祝い品																						
R3	667個	713個																						
R4	596個	641個																						
R5	557個	572個																						
R3年	R4年	R5年																						
714人	682人	601人																						
成果に係る評価	<p>出生数、妊娠届出数の減少により贈呈数は減少したものの、出産祝品は、良質で赤ちゃんが口に入れても安全なタオル地による製品で対象家庭の満足度は高く、新生児訪問での母親との良好な関係を築く一助にもなっている。</p> <p>赤ちゃんが安心して安全に使える実用性の高いもの、そして産後の母親達に幸せを感じてもらえる品物を贈呈するため、今後も「今治タオルのベビー用品」を贈呈し、出産・子育てをしやすい環境づくりに寄与していく。</p>																							
予算の執行状況	(単位：円)																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	4,037,000	3,975,585			3,975,585																			

予算科目	3 款	民生費	事業名	小学校入学祝い金支給事業																						
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																					
	1 目	児童福祉総務費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の充実																					
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																					
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44																						
目的及び事業内容	少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担を軽減するため、小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して小学校入学祝い金を支給する。																									
取組実績	<p>石巻市内に住所を有する小学1年生のいる家庭に申請書を配付したほか、市報及び市ホームページを活用して対象者へ周知を図り、確実な支給に努めた。</p> <p>1 支給対象</p> <p>(1) 第2子以降の子が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住所を有する保護者</p> <p>(2) 小規模住居型児童養育事業を行う者のうち、被措置児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住居が所在するもの</p> <p>(3) 里親のうち、被措置児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に住所を有するもの</p> <p>(4) 乳児院、児童養護施設、障害児入所施設、児童心理治療施設又は児童自立支援施設の設置者のうち、児童が小学校に入学する年の5月1日に石巻市内に当該施設等が所在するもの</p> <p>2 支給額</p> <p>子ひとりにつき、3万円を支給する。</p>																									
成果	<p>小学校に入学する第2子以降の児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝い金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>第3子以降</th> <th>第2子</th> <th>支給者合計</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>169人</td> <td>355人</td> <td>524人</td> <td>15,720,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>182人</td> <td>337人</td> <td>519人</td> <td>15,570,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>153人</td> <td>310人</td> <td>463人</td> <td>13,890,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額	R3	169人	355人	524人	15,720,000円	R4	182人	337人	519人	15,570,000円	R5	153人	310人	463人	13,890,000円
年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額																						
R3	169人	355人	524人	15,720,000円																						
R4	182人	337人	519人	15,570,000円																						
R5	153人	310人	463人	13,890,000円																						
成果に係る評価	<p>小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して、祝金を支給することにより安定した子育てしやすい環境を整えることに寄与している。</p> <p>第2子以降の子が減少傾向にあるが、本事業を継続的に実施することにより少子化対策の一助となるよう、確実な周知・支給に努める。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	14,025,000	13,975,655	2,295,000		11,494,852	185,803																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	育児ヘルパー事業															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち														
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実														
	事業	子ども・子育て支援事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する														
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P44															
目的及び事業内容		核家族化や共働き夫婦の増加により、家事、育児等に手伝いを必要とする子育て家庭が増えていることから、育児ヘルパーを派遣し、家事支援や育児支援を行うことにより、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。																	
取組実績		<p>妊娠期（母子健康手帳交付後）から生後6か月以内の子を養育する者に対し、ヘルパーの訪問による家事支援や育児支援を行った。</p> <p>1 育児ヘルパー事業</p> <p>(1) 家事支援 調理、洗濯、住居内の清掃、生活必需品の買い物等</p> <p>(2) 育児支援 おむつ交換、衣服の着脱、授乳・沐浴の介助等</p> <p>(3) 提供時間 1回につき2時間以内 (午前9時から午後5時まで。土日祝日、年末年始を除く。)</p> <p>(4) 提供回数 20回以内（多胎の場合は、30回以内）</p> <p>※ヘルパー事業所は、社会福祉法人石巻市社会福祉協議会他3事業所に委託している。</p>																	
成果		<p>家事や育児等の支援を実施することにより、孤立感や不安を抱える子育て家庭の負担や不安の軽減に繋がった。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>区分</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>34件</td> <td>53件</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>264回</td> <td>480回</td> <td>580回</td> </tr> </table>						区分	R3	R4	R5	申請件数	34件	53件	81件	利用回数	264回	480回	580回
区分	R3	R4	R5																
申請件数	34件	53件	81件																
利用回数	264回	480回	580回																
成果に係る評価		<p>事業開始（令和3年9月）から、周知や口コミにより徐々に浸透してきている。ヘルパーを住居に迎え入れることへの抵抗はあるものの、利用者からのアンケートでは大変好評を得ており、安心して子どもを産み育てられる環境の整備が図られた。</p> <p>また、産後うつや家族間の問題等により、当事業の対象期間終了後も支援を必要とする方に対しては、関係課と連携し継続的な支援につなげることににより、安定した養育体制が図られた。</p> <p>引き続き、子育て関連申請時、伴走支援などの機会を捉えて情報を発信するとともに、より効果的な周知に努め、利用向上に繋げる。</p>																	
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源													
	6,606,200	2,363,543	1,572,000		715,925	75,618													

予算科目	3 款	民生費	事業名	子どもの居場所づくり推進事業																																															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																														
	1 目	児童福祉総務費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																														
	事業	子ども・子育て支援事業費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																														
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P45																																															
目的及び事業内容		<p>【1・2】就労形態の多様化や核家族化により子どもの「孤食」や「孤立」が課題となっており、子どもが地域とつながり、見守られながら健やかに育つ環境整備を促進するため、市内において地域団体、NPO等が実施する子どもの居場所づくりの取組（地域子ども食堂・移動型プレーパーク）に対し、新規開設経費又は運営経費の一部を補助する。</p> <p>【3】本市では、子どもセンター（児童館）が中心市街地に1か所のみであるため、児童館のない地域に出向き、公民館等既存公共施設などを活用して、遊びや体験等を提供することで、子どもの居場所の拡充を図る。</p>																																																	
取組実績		<p>子どもの居場所づくり推進事業として、次の3件の事業を実施した。</p> <p>1 石巻市地域子ども食堂支援事業補助金 市内において、地域団体、NPO等が年4回以上、1回あたり概ね5名以上の子どもの参加を見込んで無料又は低額で食事を提供する「地域子ども食堂」を実施する場合には、新規開設及び運営経費の一部を補助する。（新規開設補助上限：5万円、運営補助上限：20万円）</p> <p>2 石巻市移動型プレーパーク支援事業補助金 市内において、地域団体、NPO等が子どもを見守るプレイワーカーを配置して、年4回以上、1回あたり概ね5名以上の子どもの参加を見込んで「移動型プレーパーク」を実施する場合には、運営経費の一部を補助する。（補助上限：20万円）</p> <p>3 石巻市移動型児童館事業 各総合支所地区の公民館等既存公共施設を活用して、児童の遊びを指導するもの（児童厚生員）を配置し、遊びや体験等を提供して、子どもの居場所の拡充を図るもの。 また、地域の関係者や子ども・子育て関係団体と連携・協働しながら事業を実施することにより、地域で子どもを見守り、育てる機運を醸成する。 （受託事業者：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻）</p> <p>【その他：関係機関との連携・協力】 ・「子どもの居場所づくり懇談会」を開催し、子ども・子育て関係団体と意見交換を行った。 ・石巻圏域の子ども食堂実施団体等で構成される「石巻圏域子ども食堂連絡会議」に毎月オブザーバーとして参加し、情報共有を行った。また、当連絡会議から依頼を受け、困難な状況にある子どもたちを支援するため、市職員から不要となった学生服等を収集し、当連絡会議が運営する制服バンクに提供した。</p>																																																	
成果		<p>聞き取りを行ったところ、地域子ども食堂補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども食堂の活動を中止、又は廃止した団体もあり、申請団体数及び実施回数が増減した。移動型プレーパークについては、寄付等他財源を使用して開催している団体もあり、申請団体数は減少した。移動型児童館事業はR5からの新規事業。12回（6総合支所地区×2回）実施した。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">地域子ども食堂</th> <th colspan="3">移動型プレーパーク</th> <th colspan="2">移動型児童館</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>実施回数</th> <th>補助額(円)</th> <th>団体数</th> <th>実施回数</th> <th>補助額(円)</th> <th>実施回数</th> <th>延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>103,000</td> <td>3</td> <td>46</td> <td>326,000</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>100,000</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>344,000</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>62,000</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>24,000</td> <td>12</td> <td>647人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	地域子ども食堂			移動型プレーパーク			移動型児童館		団体数	実施回数	補助額(円)	団体数	実施回数	補助額(円)	実施回数	延べ利用者数	R3	3	22	103,000	3	46	326,000	-	-	R4	1	12	100,000	3	70	344,000	-	-	R5	1	5	62,000	1	4	24,000	12	647人
年度	地域子ども食堂			移動型プレーパーク			移動型児童館																																												
	団体数	実施回数	補助額(円)	団体数	実施回数	補助額(円)	実施回数	延べ利用者数																																											
R3	3	22	103,000	3	46	326,000	-	-																																											
R4	1	12	100,000	3	70	344,000	-	-																																											
R5	1	5	62,000	1	4	24,000	12	647人																																											
成果に係る評価		<p>地域子ども食堂支援事業補助金については、より活用しやすい制度とするため、令和3年度に補助制度を見直したが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止、廃止した団体もあり、申請団体数は減少した。本市は県内でも先行して、子どもの居場所づくりに関する補助を行っており、子ども食堂やプレーパークの活動は子どもへの食や遊び場の提供などによる居場所づくりにとどまらず、地域コミュニティの醸成や世代間交流などの役割も有しており、徐々に県内でも補助を行う市町村が増えている。移動型児童館については、参加者から好評で、多様な主体と連携して開催している。</p> <p>本市では、様々な子ども・子育てに関係する団体、NPO等が各団体の特色を活かして取組を実施していることから、子どものウェルビーイングのために関係団体との情報共有を図りながら、制度の周知、意見交換を行い、子どもの居場所づくりを拡充する必要がある。</p>																																																	
（単位：円）																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	2,310,000	1,296,000	662,000			634,000																																													

予算科目	3 款	民生費	事業名	児童手当支給事業													
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち												
	2 目	児童手当費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実												
	事業	児童手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する												
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P42													
目的及び事業内容	<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																
取組実績	<p>【令和5年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>1,846人</td> <td>19,610,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>147,120人</td> <td>1,631,680,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>148,966人</td> <td>1,651,290,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・2月、6月、10月（前月までの4か月分を支給） 随時払・・・定例払の月を除く各月（資格喪失者等）</p>						支給対象延べ人数	支給総額	随時払	1,846人	19,610,000円	定例払	147,120人	1,631,680,000円	計	148,966人	1,651,290,000円
	支給対象延べ人数	支給総額															
随時払	1,846人	19,610,000円															
定例払	147,120人	1,631,680,000円															
計	148,966人	1,651,290,000円															
成果	<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>164,871人</td> <td>1,811,635,000円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>156,983人</td> <td>1,735,060,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>148,966人</td> <td>1,651,290,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	支給対象延児童数	支給総額	R3	164,871人	1,811,635,000円	R4	156,983人	1,735,060,000円	R5	148,966人	1,651,290,000円
年度	支給対象延児童数	支給総額															
R3	164,871人	1,811,635,000円															
R4	156,983人	1,735,060,000円															
R5	148,966人	1,651,290,000円															
成果に係る評価	<p>対象児童数の減少により支給額は減少傾向にあるが、今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	1,715,425,000	1,651,290,000	1,396,511,164			254,778,836											

予算科目	3 款	民生費	事業名	児童扶養手当支給事業																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																
	3 目	児童扶養手当費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																
	事業	児童扶養手当費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P42																	
目的及び事業内容	<p>父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、児童の福祉の向上を図る。</p>																				
取組実績	<p>1 支給要件 下記に該当する児童を養育している者（父、母又は養育者）に支給される。 ・父母が婚姻を解消、又は死亡した児童 ・婚姻によらず未婚で出生した児童 ・父又は母が政令で定める程度の障害にある児童 など</p> <p>2 手当額 R5.4月～ 全部支給 44,140円 一部支給 44,130円～10,410円 2人目 全部支給 10,420円 一部支給 10,410円～5,210円 3人目以降 全部支給 6,250円 一部支給 6,240円～3,130円</p> <p>3 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。 支給対象者 1,143人、支給額 620,285,500円</p> <p>4 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。</p>																				
成果	<p>父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,224人</td> <td>1,871人</td> <td>674,633,910円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,171人</td> <td>1,766人</td> <td>638,078,410円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,143人</td> <td>1,724人</td> <td>620,285,500円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	R3	1,224人	1,871人	674,633,910円	R4	1,171人	1,766人	638,078,410円	R5	1,143人	1,724人	620,285,500円
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額																		
R3	1,224人	1,871人	674,633,910円																		
R4	1,171人	1,766人	638,078,410円																		
R5	1,143人	1,724人	620,285,500円																		
成果に係る評価	<p>支給対象者数は人口減少等の影響により減少傾向にあるが、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と自立の促進を図るため、適正な給付に努める。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	642,461,000	620,285,500	205,907,273			414,378,227															

予算科目	3 款	民生費	事業名	母子・父子家庭医療対策事業																					
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																				
	4 目	母子福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																				
	事業	母子・父子家庭医療助成費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																				
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P42																					
目的及び事業内容	母子・父子家庭等に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。 入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。） 外来の場合 1レセプト 1,000円 ※所得制限あり																								
取組実績	1 助成対象者 ・母子・父子家庭の母、父及び児童 ・父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童 ・父母のいない児童など 2 助成件数 8,381件 3 助成金額 23,004,182円																								
成果	母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内受給世帯数</th> <th>所得制限内受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,251世帯</td> <td>2,997人</td> <td>9,930件</td> <td>27,790,438円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,432世帯</td> <td>3,132人</td> <td>8,271件</td> <td>23,222,477円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,148世帯</td> <td>2,884人</td> <td>8,381件</td> <td>23,004,182円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額	R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円	R4	1,432世帯	3,132人	8,271件	23,222,477円	R5	1,148世帯	2,884人	8,381件	23,004,182円
年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額																					
R3	1,251世帯	2,997人	9,930件	27,790,438円																					
R4	1,432世帯	3,132人	8,271件	23,222,477円																					
R5	1,148世帯	2,884人	8,381件	23,004,182円																					
成果に係る評価	受給者数の減少により、助成金額が減少している。 今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭等の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	26,499,000	24,981,765	11,502,000			13,479,765																			

予算科目	3 款	民生費	事業名	ひとり親家庭等自立支援給付金事業																																							
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	4 目	母子福祉費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																						
	事業	母子家庭等自立支援給付金事業費		(2)	子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する																																						
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P43																																							
目的及び事業内容	ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。 1 自立支援教育訓練給付金 2 高等職業訓練促進給付金 3 高等職業訓練修了支援給付金 4 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金																																										
取組実績	支給実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>指定講座等の主な内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>4件</td> <td>252,636円</td> <td>介護福祉士・看護師・Webクリエイター能力認定試験</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>13件</td> <td>13,121,500円</td> <td>社会福祉士・幼稚園教諭・保育士・看護師・准看護師・美容師</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>7件</td> <td>275,000円</td> <td>社会福祉士・准看護師</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳	自立支援教育訓練給付金	4件	252,636円	介護福祉士・看護師・Webクリエイター能力認定試験	高等職業訓練促進給付金	13件	13,121,500円	社会福祉士・幼稚園教諭・保育士・看護師・准看護師・美容師	高等職業訓練修了支援給付金	7件	275,000円	社会福祉士・准看護師	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																			
事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳																																								
自立支援教育訓練給付金	4件	252,636円	介護福祉士・看護師・Webクリエイター能力認定試験																																								
高等職業訓練促進給付金	13件	13,121,500円	社会福祉士・幼稚園教諭・保育士・看護師・准看護師・美容師																																								
高等職業訓練修了支援給付金	7件	275,000円	社会福祉士・准看護師																																								
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	0件	0円																																									
成果	支給件数、支給額が増加しており、制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R3</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>149,268円</td> <td rowspan="3">10,178,268円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>9,954,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R4</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>1件</td> <td>95,040円</td> <td rowspan="3">10,916,540円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>12件</td> <td>10,721,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>3件</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R5</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>4件</td> <td>252,636円</td> <td rowspan="3">13,649,136円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>13件</td> <td>13,121,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>7件</td> <td>275,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業名	支給件数	支給額	合計	R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円	R4	自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	10,916,540円	高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円	高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円	R5	自立支援教育訓練給付金	4件	252,636円	13,649,136円	高等職業訓練促進給付金	13件	13,121,500円	高等職業訓練修了支援給付金	7件	275,000円
年度	事業名	支給件数	支給額	合計																																							
R3	自立支援教育訓練給付金	5件	149,268円	10,178,268円																																							
	高等職業訓練促進給付金	8件	9,954,000円																																								
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	75,000円																																								
R4	自立支援教育訓練給付金	1件	95,040円	10,916,540円																																							
	高等職業訓練促進給付金	12件	10,721,500円																																								
	高等職業訓練修了支援給付金	3件	100,000円																																								
R5	自立支援教育訓練給付金	4件	252,636円	13,649,136円																																							
	高等職業訓練促進給付金	13件	13,121,500円																																								
	高等職業訓練修了支援給付金	7件	275,000円																																								
成果に係る評価	高等職業訓練促進給付金の給付状況については、増加傾向にある。 より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進が図られるよう、事業の周知に努め、今後も本事業の一層の利用拡大を図っていく。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	14,981,000	13,649,136	10,236,000			3,413,136																																					

予算科目	3 款	民生費	事業名	延長保育事業																									
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	5 目	保育所費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																								
	事業	保育所管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																								
担当部課	保健福祉部子ども保育課		実施計画掲載ページ	P45																									
目的及び事業内容	保護者の就労形態の多様化等により、保育時間延長の需要に対応するため、保育所及びこども園で保育時間の延長を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備し、家庭及び児童の福祉の向上を図る。																												
取組実績	平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、保育の時間が、保育短時間（8時間、午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（11時間、午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分が設けられた。 これにより、午前7時30分から午前8時30分までの1時間と午後4時30分から午後6時30分までの2時間が時間外保育となり、午後6時30分から午後7時までを延長保育という取り扱いになった。 令和5年度は、公立保育施設23施設で時間外保育を実施し、そのうち蛇田保育所において延長保育を実施した。																												
成果	<p>保育の無償化に伴い、保育時間を保育短時間から保育標準時間に変更する世帯が増えたことにより、時間外保育の利用者が減少傾向にある状況であるが、さらに保育時間の延長を実施することで、多様化する就労形態に対し、保護者が安心して就労するための環境を整え、保護者及び児童の福祉の向上を図ることができた。</p> <p>※5年間の推移（実利用人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外保育</td> <td>455人</td> <td>401人</td> <td>353人</td> <td>349人</td> <td>335人</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>468人</td> <td>413人</td> <td>368人</td> <td>360人</td> <td>343人</td> </tr> </tbody> </table>						R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	時間外保育	455人	401人	353人	349人	335人	延長保育	13人	12人	15人	11人	8人	合計	468人	413人	368人	360人	343人
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																								
時間外保育	455人	401人	353人	349人	335人																								
延長保育	13人	12人	15人	11人	8人																								
合計	468人	413人	368人	360人	343人																								
成果に係る評価	保護者の就労形態の多様化に伴い、認定を受けた保育時間を超えての受け入れに対する需要があることから、利用者は微減しているものの、事業は引き続き継続する必要がある。																												
予算の執行状況	(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	7,921,263	6,227,639			1,695,450	4,532,189																							

予算科目	3 款	民生費	事業名	公立幼稚園・保育所・こども園再編計画事業																			
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																		
	5 目	保育所費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																		
	事業	(仮称) 桃生こども園整備事業費、保育所管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																		
担当部課	保健福祉部子ども保育課		実施計画掲載ページ	P46																			
目的及び事業内容	公共施設の老朽化対策や建て替え・更新時期に伴う施設の更新や統合及び廃止、民間誘致による保育所及びこども園の整備を目的とする。 また、公立幼稚園、保育所及びこども園の更新、統合及び廃止、そして、民間誘致による保育所及びこども園の整備を計画的、効果的に進め、必要な保育供給量の確保と人的資源の有効活用に取り組むもの。																						
取組実績	<p>●(仮称) 桃生こども園建設に係る測量業務、地質調査業務、基本設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和9年4月開所予定 施設規模 90人定員（1号認定：15人、2号・3号認定：75人） 場所 石巻市桃生町中津山字八木48-1の一部 土地面積 約6,000㎡ 建物面積 1,195.41㎡ <p>令和5年度決算 (仮称) 桃生こども園整備事業費 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算 節名称</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費 消耗品費</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>委託料 工事施行を伴う委託料</td> <td>10,809,900</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,849,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>●大谷地保育所、二俣保育所、大川保育所の解体 保育所管理費 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算 節名称</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費 消耗品費</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>委託料 工事施行を伴う委託料</td> <td>1,958,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費 補助・単独工事</td> <td>65,370,800</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>67,448,800</td> </tr> </tbody> </table>					予算 節名称	事業費	需用費 消耗品費	40,000	委託料 工事施行を伴う委託料	10,809,900	合計	10,849,900	予算 節名称	事業費	需用費 消耗品費	120,000	委託料 工事施行を伴う委託料	1,958,000	工事請負費 補助・単独工事	65,370,800	合計	67,448,800
予算 節名称	事業費																						
需用費 消耗品費	40,000																						
委託料 工事施行を伴う委託料	10,809,900																						
合計	10,849,900																						
予算 節名称	事業費																						
需用費 消耗品費	120,000																						
委託料 工事施行を伴う委託料	1,958,000																						
工事請負費 補助・単独工事	65,370,800																						
合計	67,448,800																						
成果	桃生こども園建設に係る測量業務、地質調査業務、基本設計業務に着手した。また、河北保育所の保育施設統合により閉所した大谷地保育所、二俣保育所、大川保育所を解体し、公有財産の適正管理に努めた。																						
成果に係る評価	令和9年4月の桃生こども園開園に向け、建設に係る業務を着実に進捗させる必要がある。また、大谷地保育所、二俣保育所、大川保育所を解体することにより、周辺環境の向上につながった。今後も「第2期石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」に基づき、継続して事業を推進する。																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	83,610,000	78,298,700		62,100,000		16,198,700																	

予算科目	3 款	民生費	事業名		一時預かり事業																																	
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	6 目	一時保育事業管理費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																	
	事業	一時預かり事業関係費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																	
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P45																																		
目的及び事業内容		<p>保育所等を利用していない家庭において、保護者の仕事や入院、通院等突発的な事情により家庭保育が困難な場合や育児に伴う心理的・肉体的負担を解消したい場合等に、保育施設において一時的に預かることにより、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。</p>																																				
取組実績		<p>施設ごとの実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施保育所</th> <th>1日当たりの実施時間</th> <th>1日当たりの定員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>鹿妻保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td rowspan="3">河北、北村保育所はR5当初から、鹿妻保育所はR5.7月から休止。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>河北保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北村保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">公立</td> <td>3施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>なかよし保育園</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>委託事業で実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">私立</td> <td>1施設</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用の流れ ①希望施設へ申請書を提出→②利用決定（公立は市が決定、私立は実施事業者が決定する） ③利用希望日を事前予約（施設に電話又は直接）→④利用（当日料金徴収）</p>					実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	備考	公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	河北、北村保育所はR5当初から、鹿妻保育所はR5.7月から休止。		河北保育所	8時間	おおむね5人		北村保育所	8時間	おおむね5人	公立			3施設		私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	委託事業で実施	私立			1施設	
実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	備考																																			
公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	河北、北村保育所はR5当初から、鹿妻保育所はR5.7月から休止。																																		
	河北保育所	8時間	おおむね5人																																			
	北村保育所	8時間	おおむね5人																																			
公立			3施設																																			
私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	委託事業で実施																																		
私立			1施設																																			
成 果		<p>令和5年度は保育士不足により鹿妻保育所及びなかよし保育園での事業開始となったが、鹿妻保育所においては、保育士の退職により欠員が生じたことから7月以降事業を休止することとなり、なかよし保育園のみでの実施となった。 事業の実施により、就労や疾病等による入院等により保育が必要な家庭や、子育てに伴う保護者の身体的・精神的負担感の緩和に寄与することができ、就労等の社会的活動や子育て等の家庭生活との両立につながり、安心して子育てができるような環境を提供し、児童福祉の向上を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用人数</th> <th>実施施設数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,938人</td> <td>2施設</td> <td>鹿妻、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,319人</td> <td>4施設</td> <td>鹿妻、二俣、北村、なかよし</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,296人</td> <td>2施設</td> <td>鹿妻、なかよし</td> </tr> </tbody> </table>					年度	延利用人数	実施施設数	備考	R3	1,938人	2施設	鹿妻、なかよし	R4	1,319人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし	R5	1,296人	2施設	鹿妻、なかよし																
年度	延利用人数	実施施設数	備考																																			
R3	1,938人	2施設	鹿妻、なかよし																																			
R4	1,319人	4施設	鹿妻、二俣、北村、なかよし																																			
R5	1,296人	2施設	鹿妻、なかよし																																			
成果に係る評価		<p>年間での延利用人数に減少傾向が見られている。保育所等に在籍する児童も若干減少傾向にあることから、市内の未就学児童の減少との関連も考えられる。 しかしながら、保育所等に在籍していない家庭や定員等により保育所に預けることのできない家庭における突発的な保育の必要性や、子育てに伴う保護者の身体的・精神的負担感の緩和が必要となった際の受け皿として、一時預かり事業の実施は必要であることから、引き続き事業を継続していくとともに、保護者のニーズ等を把握し、事業の充実を図っていく必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	6,488,000	4,075,299	3,864,000		97,250	114,049																																

予算科目	3 款	民生費	事業名		心身障害児通園対策事業																																																																																																																
	3 項	児童福祉費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																																																																																
	7 目	障害児福祉費		第 1 節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																																																																																																																
	事業	心身障害児通園支援費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																																																																																																																
担当部課	保健福祉部子ども保育課	実施計画掲載ページ		P46																																																																																																																	
目的及び事業内容		<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園(13施設)に通園する児童の保護者に対し、交通費の一部を助成し、保護者の経済的支援を図る。</p> <p>助成内容 ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代</p>																																																																																																																			
取組実績		<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園(13施設)に通園する児童の保護者に対し、通園に要する交通費の一部を助成することで、保護者の経済的支援や心身障害児の健全育成の推進を図った。</p> <p>助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>該当施設数</th> <th>対象者数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道又はバス定期券運賃代</td> <td>0施設</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>自家用車ガソリン代</td> <td>13施設</td> <td>24人</td> <td>877,250円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象施設：石巻保育所、渡波保育所、鹿妻保育所、若草保育所、水押保育所、ふたば保育所、飯野川保育所、雄勝保育所、和瀨保育所、桃生新田保育所、北上こども園、牡鹿地区保育所、かもめ学園</p>					区分	該当施設数	対象者数	助成額	鉄道又はバス定期券運賃代	0施設	0人	0円	自家用車ガソリン代	13施設	24人	877,250円																																																																																																			
区分	該当施設数	対象者数	助成額																																																																																																																		
鉄道又はバス定期券運賃代	0施設	0人	0円																																																																																																																		
自家用車ガソリン代	13施設	24人	877,250円																																																																																																																		
成 果		<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園に通園する児童の健全育成と、保護者の経済的負担の軽減など、障害児の福祉増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>3人</td> <td>47,427円</td> <td>1人</td> <td>46,158円</td> <td>1人</td> <td>65,049円</td> </tr> <tr> <td>渡波</td> <td>1人</td> <td>38,280円</td> <td>5人</td> <td>141,548円</td> <td>5人</td> <td>158,775円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻</td> <td>2人</td> <td>76,549円</td> <td>2人</td> <td>60,967円</td> <td>3人</td> <td>72,379円</td> </tr> <tr> <td>若草</td> <td>3人</td> <td>98,492円</td> <td>2人</td> <td>66,705円</td> <td>1人</td> <td>44,522円</td> </tr> <tr> <td>水押</td> <td>3人</td> <td>116,667円</td> <td>3人</td> <td>104,687円</td> <td>2人</td> <td>82,564円</td> </tr> <tr> <td>ふたば</td> <td>3人</td> <td>66,848円</td> <td>1人</td> <td>29,702円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>飯野川</td> <td>1人</td> <td>91,659円</td> <td>1人</td> <td>89,588円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>和瀨</td> <td>2人</td> <td>106,767円</td> <td>3人</td> <td>157,392円</td> <td>3人</td> <td>230,349円</td> </tr> <tr> <td>桃生新田</td> <td>2人</td> <td>37,620円</td> <td>2人</td> <td>34,674円</td> <td>2人</td> <td>34,631円</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>2人</td> <td>66,329円</td> <td>2人</td> <td>68,224円</td> <td>1人</td> <td>27,700円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>2人</td> <td>96,508円</td> <td>1人</td> <td>126,803円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>かもめ学園</td> <td>8人</td> <td>87,230円</td> <td>5人</td> <td>96,944円</td> <td>6人</td> <td>161,281円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32人</td> <td>930,376円</td> <td>28人</td> <td>1,023,392円</td> <td>24人</td> <td>877,250円</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	R3年度		R4年度		R5年度		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	石巻	3人	47,427円	1人	46,158円	1人	65,049円	渡波	1人	38,280円	5人	141,548円	5人	158,775円	鹿妻	2人	76,549円	2人	60,967円	3人	72,379円	若草	3人	98,492円	2人	66,705円	1人	44,522円	水押	3人	116,667円	3人	104,687円	2人	82,564円	ふたば	3人	66,848円	1人	29,702円	—	—	飯野川	1人	91,659円	1人	89,588円	—	—	雄勝	—	—	—	—	—	—	和瀨	2人	106,767円	3人	157,392円	3人	230,349円	桃生新田	2人	37,620円	2人	34,674円	2人	34,631円	北上	2人	66,329円	2人	68,224円	1人	27,700円	牡鹿	2人	96,508円	1人	126,803円	—	—	かもめ学園	8人	87,230円	5人	96,944円	6人	161,281円	合計	32人	930,376円	28人	1,023,392円	24人	877,250円
区 分	R3年度		R4年度		R5年度																																																																																																																
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費																																																																																																															
石巻	3人	47,427円	1人	46,158円	1人	65,049円																																																																																																															
渡波	1人	38,280円	5人	141,548円	5人	158,775円																																																																																																															
鹿妻	2人	76,549円	2人	60,967円	3人	72,379円																																																																																																															
若草	3人	98,492円	2人	66,705円	1人	44,522円																																																																																																															
水押	3人	116,667円	3人	104,687円	2人	82,564円																																																																																																															
ふたば	3人	66,848円	1人	29,702円	—	—																																																																																																															
飯野川	1人	91,659円	1人	89,588円	—	—																																																																																																															
雄勝	—	—	—	—	—	—																																																																																																															
和瀨	2人	106,767円	3人	157,392円	3人	230,349円																																																																																																															
桃生新田	2人	37,620円	2人	34,674円	2人	34,631円																																																																																																															
北上	2人	66,329円	2人	68,224円	1人	27,700円																																																																																																															
牡鹿	2人	96,508円	1人	126,803円	—	—																																																																																																															
かもめ学園	8人	87,230円	5人	96,944円	6人	161,281円																																																																																																															
合計	32人	930,376円	28人	1,023,392円	24人	877,250円																																																																																																															
成果に係る評価		<p>心身障害児の受入れ施設に限られているため、居住地から離れている施設を利用している児童保護者が多く、経済的負担となっているケースもあることから、その経済的負担を軽減することで通園しやすい環境を整え、個々に応じた障害児の成長発達支援に繋げ、障害児福祉の充実を図るためにも、事業の継続が必要である。</p>																																																																																																																			
(単位：円)																																																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																															
	1,000,000	877,250				877,250																																																																																																															

予算科目	3 款	民生費	事業名	障害児通所給付事業															
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち														
	7 目	障害児福祉費		第3節	共に安心して暮らせる障害福祉の充実														
	事業	障害児通所給付費		(1)	障害者の自立と社会参加への支援を行う														
実施計画掲載ページ				P53															
担当部課	保健福祉部障害福祉課																		
目的及び事業内容	<p>児童福祉法に基づき、障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、必要な障害児通所支援（サービス）の利用に係る給付費を、サービス提供事業者へ支給することにより、障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民相互に人格と個性を尊重して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とする。</p> <p>事業費としては、国1/2、県1/4、市1/4の負担金によるものとなっている。</p>																		
取組実績	<p>1 児童発達支援：R5年度給付費 137,579,845円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>9か所</td> <td>65人</td> <td>559件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>8か所</td> <td>102人</td> <td>815件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用人数	延利用件数	R4	9か所	65人	559件	R5	8か所	102人	815件
	年度	事業所数	実利用人数	延利用件数															
	R4	9か所	65人	559件															
	R5	8か所	102人	815件															
	<p>2 放課後等デイサービス：R5年度給付費 374,669,178円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>29か所</td> <td>216人</td> <td>2,959件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>30か所</td> <td>258人</td> <td>3,265件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用人数	延利用件数	R4	29か所	216人	2,959件	R5	30か所	258人	3,265件
年度	事業所数	実利用人数	延利用件数																
R4	29か所	216人	2,959件																
R5	30か所	258人	3,265件																
<p>3 保育所等訪問支援：R5年度給付費 516,200円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1か所</td> <td>2人</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1か所</td> <td>3人</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用人数	延利用件数	R4	1か所	2人	8件	R5	1か所	3人	18件	
年度	事業所数	実利用人数	延利用件数																
R4	1か所	2人	8件																
R5	1か所	3人	18件																
<p>4 障害児相談支援：R5年度給付費 12,807,010円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>8か所</td> <td>269人</td> <td>595件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9か所</td> <td>330人</td> <td>724件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用人数	延利用件数	R4	8か所	269人	595件	R5	9か所	330人	724件	
年度	事業所数	実利用人数	延利用件数																
R4	8か所	269人	595件																
R5	9か所	330人	724件																
<p>5 障害児通所措置：R5年度給付費 519,151円 ※事業所数は実利用事業所ベース</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1か所</td> <td>1人</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2か所</td> <td>3人</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	実利用人数	延利用件数	R4	1か所	1人	8件	R5	2か所	3人	7件	
年度	事業所数	実利用人数	延利用件数																
R4	1か所	1人	8件																
R5	2か所	3人	7件																
成果	<p>障害児一人ひとりの成長、発達、障害特性等に合わせたサービスを提供することで、障害児が日常生活や社会生活を円滑に営むための一助となり、また、障害児の保護者等に対する負担軽減に繋げることができた。</p>																		
成果に係る評価	<p>児童福祉法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の規定に基づく公的給付費であり、利用実績が増加していることから、制度の周知が図られ、利用者のニーズに沿った概ね適正な支給となっている。</p> <p>引き続き、障害児がその有する能力及び適正に応じ、地域で安心して暮らすことができるよう、障害児相談支援及び障害児通所支援等の充実を図り、適切な時期に療育が受けられる体制づくりに努める。</p>																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	526,754,187	526,754,187	390,035,688			136,718,499													

予算科目	3 款	民生費	事業名	放課後児童クラブ事業〔復興基金〕																														
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																													
	8 目	児童厚生施設費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																													
	事業	放課後児童クラブ関係費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																													
実施計画掲載ページ				P45																														
担当部課	保健福祉部子育て支援課																																	
目的及び事業内容	<p>保護者の就労等により、日中保育ができない小学生を対象に、放課後等における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。また、利用者からの幅広いニーズへの対応や業務の効率化を図るため、事業運営の民間委託を推進する。</p>																																	
取組実績	<p>1 市内52か所の児童クラブで、放課後家庭において保育ができない小学生の受け入れを行った。</p> <p>利用児童数（R5年度末）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用児童数</th> <th>石巻地区</th> <th>河北地区</th> <th>雄勝地区</th> <th>河南地区</th> <th>桃生地区</th> <th>北上地区</th> <th>牡鹿地区</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,338人</td> <td>121人</td> <td>6人</td> <td>281人</td> <td>80人</td> <td>24人</td> <td>3人</td> <td>1,853人</td> </tr> </tbody> </table>							利用児童数	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計		1,338人	121人	6人	281人	80人	24人	3人	1,853人									
	利用児童数	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計																									
		1,338人	121人	6人	281人	80人	24人	3人	1,853人																									
<p>2 放課後児童クラブ支援員等の質の向上対策</p> <p>作業療法士と連携し、日常生活や集団生活で配慮を必要とする児童への対応方法について学ぶ機会を設けた。その他、防犯意識の向上や危機対応習得のため、防犯研修会を実施した。</p> <p>3 民間事業者への支援及び民間委託の推進</p> <p>放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者への支援（補助金）及び鹿妻ほか7地区（12支援）の民間委託の受託候補者を公募型プロポーザルにより決定した。</p>																																		
成果	<p>1 利用希望児童を受け入れたことで、日中保育ができない家庭の児童の健全育成が図られた。</p> <p>児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数一覧（各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童クラブ</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数</td> <td>48施設</td> <td>52施設</td> <td>52施設</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,365人</td> <td>2,465人</td> <td>2,465人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,985人</td> <td>2,020人</td> <td>2,028人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>36人</td> <td>21人</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">⇒</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52施設</td> </tr> <tr> <td>2,465人</td> </tr> <tr> <td>1,853人</td> </tr> <tr> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>							児童クラブ	R3	R4	R5	設置数	48施設	52施設	52施設	定員	2,365人	2,465人	2,465人	利用児童数	1,985人	2,020人	2,028人	待機児童数	36人	21人	54人	R5年度末	52施設	2,465人	1,853人	9人		
	児童クラブ	R3	R4	R5																														
	設置数	48施設	52施設	52施設																														
	定員	2,365人	2,465人	2,465人																														
利用児童数	1,985人	2,020人	2,028人																															
待機児童数	36人	21人	54人																															
R5年度末																																		
52施設																																		
2,465人																																		
1,853人																																		
9人																																		
<p>2 作業療法士連携事業（作業療法士によるコンサルテーション）実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ・回数</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回</td> <td></td> <td>蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二俣 各3回</td> <td>大街道、開北一、山下、万一、湊、貞山 各3回</td> </tr> </tbody> </table>							クラブ・回数	R3	R4	R5	鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回		蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二俣 各3回	大街道、開北一、山下、万一、湊、貞山 各3回																				
クラブ・回数	R3	R4	R5																															
鹿妻一・二、開北一、湊、万一、北村 各3回		蛇三・四・六、山下一・二、前谷地、二俣 各3回	大街道、開北一、山下、万一、湊、貞山 各3回																															
<p>3 ①民間事業者への補助金交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(特非) 放課後子どもクラブBremen</td> <td>5,885,000円</td> <td>11,278,000円</td> <td>18,921,000円</td> </tr> <tr> <td>(特非) 乳幼児保育園ミルク</td> <td>6,046,000円</td> <td></td> <td>3,108,600円</td> </tr> <tr> <td>(株) アトムズ</td> <td>2,258,000円</td> <td>7,237,000円</td> <td>11,673,000円</td> </tr> <tr> <td>(社福) 東北福祉会</td> <td></td> <td></td> <td>847,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>②民間委託の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>鹿妻、釜、万石浦、貞山、広淵、前谷地、北村、和淵</th> <th>受託者</th> <th>シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業者	R3	R4	R5	(特非) 放課後子どもクラブBremen	5,885,000円	11,278,000円	18,921,000円	(特非) 乳幼児保育園ミルク	6,046,000円		3,108,600円	(株) アトムズ	2,258,000円	7,237,000円	11,673,000円	(社福) 東北福祉会			847,000円	地区	鹿妻、釜、万石浦、貞山、広淵、前谷地、北村、和淵	受託者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)				
事業者	R3	R4	R5																															
(特非) 放課後子どもクラブBremen	5,885,000円	11,278,000円	18,921,000円																															
(特非) 乳幼児保育園ミルク	6,046,000円		3,108,600円																															
(株) アトムズ	2,258,000円	7,237,000円	11,673,000円																															
(社福) 東北福祉会			847,000円																															
地区	鹿妻、釜、万石浦、貞山、広淵、前谷地、北村、和淵	受託者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)																															
成果に係る評価	<p>令和5年度は鹿妻ほか7地区（12支援）において、民間委託を進め、人材の確保及び支援員等の資質向上を図ることで、安定的な保育の受け皿を確保した。</p> <p>また、支援員等の質の向上を図るため、作業療法士と連携（業務委託）し、日常生活や集団生活で配慮を必要とする児童への対応方法について、現地での状況把握や対応方法の助言を受けるなど、学ぶ機会を設け、巡回指導員が定期的に児童クラブを巡回し、児童クラブの支援員等への指導・助言を通して質の向上が図られた。</p>																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	494,981,000	470,136,235	134,340,000		73,181,173	262,615,062																												

予算科目	3 款	民生費	事業名	石巻市子どもセンター事業																										
	3 項	児童福祉費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																									
	8 目	児童厚生施設費		第1節	安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実																									
	事業	子どもセンター管理費		(3)	子どもが安心して過ごせる環境を整備する																									
担当部課	保健福祉部子育て支援課	実施計画掲載ページ		P45																										
目的及び事業内容	児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を提供し、その心身の健康を増進する。「石巻市子どもセンター条例」や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づいて、子どもの権利を柱として施設を運営し、子どもの声を取り入れて、地域と連携しながら各種事業を展開することにより、子どもの権利の啓発や社会参加の推進を図る。併せて、子育て支援施設としての機能も有しており、子育て中の親子を対象とした講座や運動あそびを通じて保護者間の交流の推進や地域とのつながりの充実に寄与する。																													
取組実績	<p>1 開設日数：319日（休館日：年末年始、祝日、毎月第1、3木曜日）</p> <p>2 開設時間：午前9時30分～午後7時（小学生以下で保護者等の同伴がない場合は午後5時まで）</p> <p>3 指定管理制度による運営 指定管理者：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 指定の期間：令和5年度～令和9年度</p> <p>4 主な事業</p> <p>(1) 子ども参加事業「子ども企画」（カードゲーム大会や、宝探しゲーム等を子ども自らが企画） 「まきトーーク」（意見やアイデアを出し合い、後日、直接市長に提言） 「子どもセンター運営会議」（子どもセンターの運営について話し合う会議） 「子どもまちづくりクラブ」（子どもの居場所づくりをテーマとして活動）</p> <p>(2) 子ども実行委員企画イベント「ハロウィン祭り」（商店街と連携しながら仮装してまち歩き） 「夏祭り」（子どもが店長となりイベント企画） 「らいつの日010」（周年記念イベント）</p> <p>(3) 移動児童館事業 蛇田地区11回、鹿又地区1回</p> <p>(4) 地域や企業との連携事業「お茶っこらいつ」、「ボランティア受け入れ」</p> <p>(5) 子育て支援事業「ベビーマッサージ」、「運動遊び」、「休日子育て相談」</p> <p>(6) 子どもの権利啓発事業 毎年11月を「子どもの権利月間」として子どもの権利啓発事業を実施</p>																													
成果	<p>乳幼児から高校生までの世代が幅広く利用しており、異年齢での遊びや交流、コミュニケーションの場にもなっている。延べ利用者数は前年度より増加した。子どもの声や意見を聴取し、社会に発信する取組である「まきトーーク（子どもまちづくり意見交換会）」では、「石巻をもっと暮らしやすく！もっと盛り上げよう！」をテーマとして子どもたちが意見やアイデアを出し合い、後日、伝えたいことを「子どもまちづくり提言書」にまとめて、直接市長に提言した。</p> <p>利用実績（延べ利用者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般来館</td> <td>13,821人</td> <td>18,039人</td> <td>23,450人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>3,093人</td> <td>5,228人</td> <td>6,608人</td> </tr> <tr> <td>団体利用</td> <td>282人</td> <td>1,029人</td> <td>1,120人</td> </tr> <tr> <td>見学</td> <td>219人</td> <td>352人</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,415人</td> <td>24,648人</td> <td>31,428人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	R3	R4	R5	一般来館	13,821人	18,039人	23,450人	定期事業・イベント	3,093人	5,228人	6,608人	団体利用	282人	1,029人	1,120人	見学	219人	352人	250人	合計	17,415人	24,648人	31,428人
区分	R3	R4	R5																											
一般来館	13,821人	18,039人	23,450人																											
定期事業・イベント	3,093人	5,228人	6,608人																											
団体利用	282人	1,029人	1,120人																											
見学	219人	352人	250人																											
合計	17,415人	24,648人	31,428人																											
成果に係る評価	<p>指定管理による運営の強みを生かし、子どもの権利を柱に、子どもの声や意見を子どもセンターの事業や運営に活かしながら、地域や学校等と連携した取組みがなされている。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、来館者数が増加し、概ねコロナ禍前の水準まで延べ利用者数が回復した。令和6年1月に発出した石巻市「こどもまんなか」宣言においても、子どもの声や意見を聴取・発信を推進していくことを掲げており、引き続き、子どもが安心して過ごせる居場所として子どもが自由に声や意見を発信できる環境を整えながら、子どもの声を生かした事業及び運営を行う。</p>																													
予算の執行状況	（単位：円）																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
30,308,000	30,307,600	6,732,000			23,575,600																									

予算科目	3 款	民生費	事業名	生活保護事業																																																		
	4 項	生活保護費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																	
	2 目	扶助費		第5節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																	
	事業	各種扶助費		(1)	地域での孤立防止を推進する																																																	
担当部課	保健福祉部保護課	実施計画掲載ページ		P59																																																		
目的及び事業内容	生活に困窮する市民に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的として生活保護事業を実施する。																																																					
取組実績	<p>本事業の目的を達成するため、下記のとおり取り組んだ。</p> <p>1 生活保護事業</p> <p>(1) 実施体制：所長1名、査察指導員2名、現業員14名、医療・介護扶助担当者1名、経理担当1名、就労支援員2名、レセプト点検員2名、嘱託医1名</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>ア 新規相談の受理 377世帯（延べ494回）</p> <p>イ 新規申請の受理 243世帯</p> <p>ウ 保護の新規開始 191世帯（252名）</p> <p>エ 就労支援の実施 37名（うち13名が就労に至った）</p> <p>オ 後発医薬品の利用促進 後発医薬品利用率 90.6%</p>																																																					
成果	<p>保護が必要な世帯に対し、国が定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることができた。</p> <p>1 年度ごとの被保護世帯数等（年度平均数値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保護世帯数</td> <td>1,222 世帯</td> <td>1,253 世帯</td> <td>1,313 世帯</td> <td>1,372 世帯</td> <td>1,417 世帯</td> </tr> <tr> <td>被保護人員</td> <td>1,561 人</td> <td>1,587 人</td> <td>1,656 人</td> <td>1,740 人</td> <td>1,798 人</td> </tr> <tr> <td>保護率</td> <td>10.92 %</td> <td>11.24 %</td> <td>11.91 %</td> <td>12.69 %</td> <td>13.44 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保護率＝被保護人員÷人口×1,000（単位：％＝パーミル、千分率）</p> <p>2 就労支援対象者の就業率等（総合計画実施計画の活動指標・成果指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労支援対象者</td> <td>54 人</td> <td>55 人</td> <td>41 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施者</td> <td>48 人</td> <td>44 人</td> <td>37 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）</td> <td>88.9 %</td> <td>80.0 %</td> <td>90.2 %</td> </tr> <tr> <td>就業者数</td> <td>23 人</td> <td>22 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）</td> <td>42.6 %</td> <td>40.0 %</td> <td>31.7 %</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R1	R2	R3	R4	R5	被保護世帯数	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯	1,372 世帯	1,417 世帯	被保護人員	1,561 人	1,587 人	1,656 人	1,740 人	1,798 人	保護率	10.92 %	11.24 %	11.91 %	12.69 %	13.44 %	年度	R3	R4	R5	就労支援対象者	54 人	55 人	41 人	就労支援実施者	48 人	44 人	37 人	就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	88.9 %	80.0 %	90.2 %	就業者数	23 人	22 人	13 人	就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	42.6 %	40.0 %	31.7 %
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																	
被保護世帯数	1,222 世帯	1,253 世帯	1,313 世帯	1,372 世帯	1,417 世帯																																																	
被保護人員	1,561 人	1,587 人	1,656 人	1,740 人	1,798 人																																																	
保護率	10.92 %	11.24 %	11.91 %	12.69 %	13.44 %																																																	
年度	R3	R4	R5																																																			
就労支援対象者	54 人	55 人	41 人																																																			
就労支援実施者	48 人	44 人	37 人																																																			
就労支援実施率（活動指標、目標50.0%）	88.9 %	80.0 %	90.2 %																																																			
就業者数	23 人	22 人	13 人																																																			
就労支援対象者の就業率（成果指標、目標20.0%）	42.6 %	40.0 %	31.7 %																																																			
成果に係る評価	<p>生活保護制度は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づく、社会保障制度における最後のセーフティネットとしての役割を果たしている。本市の生活保護の動向は、平成23年の東日本大震災の影響により一時的に保護世帯数・人員ともに減少したが、平成24年度中には再び増加に転じ、以降、引き続き増加傾向で推移している。今後、震災やコロナ対策の各種支援策の収束や物価高騰等、経済情勢や社会情勢の変化により新たに保護を必要とする市民が急激に増加することも危惧されることから、引き続き実施体制の整備を図り、また、生活困窮者自立支援事業等との連携により多層的なセーフティネットを構築し、生活に困窮している市民の最低限度の生活を確実に保障していく必要がある。</p>																																																					
予算の執行状況	（単位：円）																																																					
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
2,726,474,000	2,649,875,481	2,049,019,467			600,856,014																																																	

予算科目	3 款	民生費	事業名	共助型復興公営住宅支援員配置事業																						
	5 項	災害救助費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																					
	1 目	災害救助費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																					
	事業	被災者支援事業費（東日本大震災関係分）		(1)	地域での孤立防止を推進する																					
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ		P 59																						
目的及び事業内容																										
<p>入居者が互いに見守り、助け合いながら、安心して暮らすことを目的として建設された「共助型住宅」である新西前沼第三復興公営住宅に支援員を配置し、入居者の見守りや健康・介護相談、緊急時対応等を行い、入居者の生活支援を図る。</p>																										
取組実績																										
<p>1 事業委託</p> <p>(1) 委託先 特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会</p> <p>(2) 委託内容 入居者の見守りや安否確認及び相談対応、緊急時の対応等</p> <p>(3) 委託料 6,056,413円</p>																										
<p>2 支援実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">見守り、相談、情報提供</th> <th colspan="2">イベント</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>実施回数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>40人</td> <td>4,027回</td> <td>84回</td> <td>726人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>43人</td> <td>5,316回</td> <td>75回</td> <td>733人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	見守り、相談、情報提供		イベント		対象人数	実施回数	実施回数	参加者数	R4	40人	4,027回	84回	726人	R5	43人	5,316回	75回	733人
年度	見守り、相談、情報提供		イベント																							
	対象人数	実施回数	実施回数	参加者数																						
R4	40人	4,027回	84回	726人																						
R5	43人	5,316回	75回	733人																						
<p>3 支援員配置に関するアンケート</p> <p>入居者に対し、事業に対する満足度を計るアンケートを実施した。</p> <p>(1) 回答率 73.7%</p> <p>(2) 平均満足度 75.9%</p>																										
成果																										
<p>入居者における高齢化の進行やコロナ禍による活動制限も加わり、入居者間での共助による生活が困難となる中、支援員を配置し、見守りや相談対応等の側面支援を行うことで、入居者の生活支援が図られた。</p> <p>また、新型コロナウイルスの5類移行後も感染症対策に努めつつ、軽運動やお茶会などのイベント開催により、入居者間の親睦が深まるとともに、生きがいを創出する機会に繋がりを、閉じこもり防止や活動意欲の向上が図られた。</p>																										
成果に係る評価																										
<p>生活課題を抱える入居者に対しては、他の入居者との情報共有により必要な支援機関等に繋ぐなど、入居者の安定した生活を持続するため、本事業の継続が必要である。</p> <p>また、入居開始から5年以上が経過し、令和6年3月末現在の入居者のうち65歳以上の高齢者が83%、75歳以上でも44%と高齢化が進行しており、今後も自助による生活が困難な方の増加が見込まれることや新たな入居者に対する生活支援を行うことにより、すべての入居者が安心して暮らし続けることができるよう、支援員の配置を継続する必要がある。</p>																										
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	6,160,000	6,056,413	6,056,000			413																				

予算科目	3 款	民生費	事業名	被災者生活支援事業																															
	5 項	災害救助費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	1 目	災害救助費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																														
	事業	被災者支援事業費（東日本大震災関係分）		(1)	地域での孤立防止を推進する																														
担当部課	保健福祉部生活再建支援室	実施計画掲載ページ		P 59																															
目的及び事業内容																																			
<p>応急仮設住宅等から復興公営住宅等の恒久住宅へ移転後も、様々な生活の課題を抱える被災者に対する相談・生活支援を推進するとともに、被災者個々の孤立防止のために新しい福祉コミュニティの構築を支援するなど、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開することにより、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p>																																			
取組実績																																			
<p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業（被災者見守り・相談支援事業）</p> <p>石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区（16地区）に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者への相談支援、見守り事業等を実施するとともに、復興公営住宅等の入居者と周辺住民による茶話会等を通じて交流促進を行った。</p>																																			
<p>2 社会福祉士等相談支援事業（被災者支援総合事業）</p> <p>復興公営住宅等生活相談支援事業を実施する中で、医療・健康面や就労・経済面等様々な課題を抱えた被災者に対し、社会福祉士等の専門職による、身体や心のケアをはじめとした傾聴・相談支援、経済的自立に向けた就労支援に繋げるための相談・生活支援等を実施した。</p>																																			
成果																																			
<p>東日本大震災により被災し、復興公営住宅等に再建した被災者に対する見守りや寄り添い支援、制度へのつなぎ、福祉コミュニティへの支援等を実施することにより、被災者の生活支援が図られた。</p>																																			
<p>1 復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>復興住宅訪問件数</th> <th>防集団地訪問件数</th> <th>地域活動参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>38,456件</td> <td>4,203件</td> <td>344人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>53,131件</td> <td>4,658件</td> <td>237人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>47,673件</td> <td>4,271件</td> <td>325人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	地域活動参加人数	R3	38,456件	4,203件	344人	R4	53,131件	4,658件	237人	R5	47,673件	4,271件	325人												
年度	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	地域活動参加人数																																
R3	38,456件	4,203件	344人																																
R4	53,131件	4,658件	237人																																
R5	47,673件	4,271件	325人																																
<p>2 社会福祉士等相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支援実世帯数</th> <th>訪問</th> <th>電話</th> <th>調整等</th> <th>関係機関へ案内</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>65世帯</td> <td>834件</td> <td>1,163件</td> <td>522件</td> <td>614件</td> <td>3,133件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>44世帯</td> <td>667件</td> <td>744件</td> <td>292件</td> <td>475件</td> <td>2,178件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>41世帯</td> <td>488件</td> <td>707件</td> <td>326件</td> <td>365件</td> <td>1,886件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	支援実世帯数	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計	R3	65世帯	834件	1,163件	522件	614件	3,133件	R4	44世帯	667件	744件	292件	475件	2,178件	R5	41世帯	488件	707件	326件	365件	1,886件
年度	支援実世帯数	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計																													
R3	65世帯	834件	1,163件	522件	614件	3,133件																													
R4	44世帯	667件	744件	292件	475件	2,178件																													
R5	41世帯	488件	707件	326件	365件	1,886件																													
成果に係る評価																																			
<p>阪神・淡路大震災後の孤独死の実態や復興公営住宅入居者等の高齢化などを踏まえ、地域生活支援員による復興公営住宅等全世帯に対する訪問・相談等の見守り支援を実施してきたが、震災関連の相談が減少してきたため、令和5年度で全世帯の見守りを終了した。しかし、入居者のコミュニティづくりや活動への支援は必要なことから、地域福祉コーディネーターによる福祉コミュニティ支援を継続するとともに個別相談を実施していく。</p> <p>社会福祉士等相談支援事業については、専門的な観点から被災者の心のケアなどの相談・生活支援などを実施してきたが、支援世帯数が減少したことから、平時支援として庁内関係各課及び関係機関へ引継ぎし、令和5年度で事業を終了した。</p>																																			
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	156,396,000	143,083,999	143,083,000			999																													